

National Institute of Technology, Toyama College

平成26年度
学校要覧

教育理念

創 意 ・ 創 造
自 主 ・ 自 律
共 存 ・ 共 生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的
社会といったメッセージがこめられています。組み
合わさって表現される形は、アルファベットのIをイ
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同じ
に、これらを含み込む母体であるToyama(富山)の
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝
池辺晋一郎
曲 詩

山銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

白山に夢を形にする

この学舎でともに手をと

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を口指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

白ら省みて行い

白らに恥じなく生きる

この青春をともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語り平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代をともに支えて



本館キャンパス



おしかキャンパス

目次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	6
3 学科紹介	8
4 専攻科紹介	23
5 教員名簿	26
6 地域人材開発本部	32
7 製品開発本部	33
8 主要施設	33
9 学生生活	35
10 地域社会との連携	40
11 研究活動	42
12 国際交流活動	43
13 財務状況	45
14 在学状況	48

1 学校紹介

■ 校長あいさつ



校長 石原 外美

平素、富山高等専門学校への教育・研究に対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本は資源に乏しく、科学技術によって国力の向上を志向する、いわゆる、科学技術立国です。また、日本は、周囲を海に囲まれていることから、保有する海洋面積は世界の他の国々と比較して多く、海洋資源の有効利用を志向する海洋立国でもあります。

新しい日本の未来を拓くためには、社会を豊かに、そして社会の活性化に貢献できる有為な人材の養成が重要な課題となっています。

富山高等専門学校は、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、並びに電子情報工学科の工学系の4学科と、文系の国際ビジネス学科、そして商船学科の合計6学科からなっております。本高専は、全国の他の高専と比較して、工学系、文系そして商船系までの幅広い教育研究分野を有しています。特に、文系の学科を有する高等専門学校は、本高専以外には無く、そのことが、本高専の大きな特徴となっております。

富山高等専門学校では、3つの教育理念を掲げています。すなわち、第一に、「創意・創造」、第二に「自主・自律」、そして第三に「共存・共生」です。第一の創意・創造は、新しいことを考え、それを自分の手で形にすることです。第二の自主・自律は、つねに主体的に行動し、何事も諦めないこと、そして第三の共存・共生は、他者を認め、他者と共に生きることを意味しています。

富山高等専門学校は、以上の教育理念の下、日本並びに世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする高等教育機関です。高等専門学校では、五年一貫の本科教育を行っています。もし、専攻科へ進学しますと、七年一貫教育となります。さらに、専攻科修了後、国内、海外の大学院（修士課程）へ進学することによって、高度なグローバル技術者を養成することが可能です。

本校では、実験・実習、それから演習を多く取り入れ、学生の理解を深める教育指導を行っています。工学系学科では、産業界のニーズに適合した幅広い分野の基礎技術を身に付けた技術者を育成し、国際ビジネス学科では、国際的に活躍し、地域社会並びに地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成し、そして商船学科では、船舶職員として社会的ニーズに対応できる人材を育成します。

富山高等専門学校は、(1)教育・研究の高度化、(2)国際的に活躍できるグローバル人材の育成、(3)専攻科の充実と強化、そして(4)共同研究、技術相談を通じた社会貢献を、今後の重点課題として取り組んで参ります。上記(1)、(2)、(3)については、学生の海外インターンシップ・研修の推進、外国人留学生の受け入れ、さらには、教職員の国内・国際連携型共同研究等を強力に推進しています。また、(4)については、地域人材開発本部に加え、新たに製品開発本部を設置し、地域の皆様方の要望に応え、信頼される高等教育機関となるよう努力しております。

富山高等専門学校は、地域の皆様に愛され、そして信頼される高等教育機関となるよう、教職員一同、一丸となって努力して参ります。どうぞ、皆様方からのご指導、ご鞭撻、そしてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 本校の教育目標

1 「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2 「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのため、まず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3 「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■ 準学士課程（本科）アドミッションポリシー

本校では、環日本海地域を中心とした地球的な視点に立ち、充実した教養教育や実践的な専門教育により、学生一人ひとりの個性を尊重し、専門知識・技術を身につけ、その能力を育成することを目指しています。

このような方針に基づき、各学科では人・社会・自然・環境に思いやりのある、次のような学生を求めます。

機械システム工学科

- 1 機械・構造物、機械システムに興味がある人
- 2 創造力豊かな機械技術者になりたい人
- 3 エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人

電子情報工学科

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって社会に貢献したい人

電気制御システム工学科

- 1 電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人
- 2 ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

国際ビジネス学科

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身につけたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

物質化学工学科

- 1 化学の世界に興味を持っている人
- 2 地球と人にやさしいものづくりをしたい人
- 3 持続的社会的構築に貢献したい人

商船学科

- 1 海や自然が好きな人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

■ 専攻科アドミッションポリシー

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めます。

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身につけたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

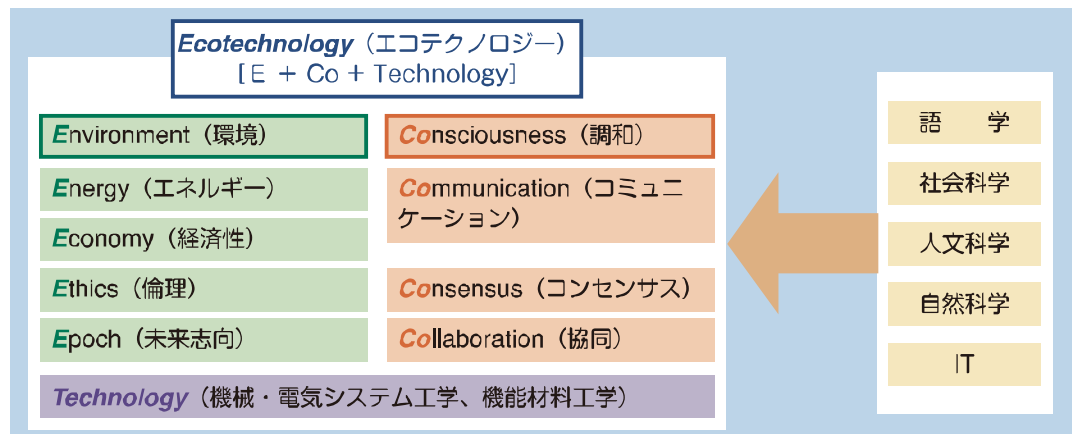
■ J A B E E 対応教育プログラム

本校専攻科の「エコデザイン工学専攻」及び「制御情報システム工学専攻」では、日本技術者教育認定機構（JABEE）が認める以下の技術者教育プログラムを設定しています。

それぞれの専攻に入学した学生は各教育プログラムの履修者となります。そのため学科の一部の科目を修得することが必要となる場合があります。各プログラムの内容及び学位取得を含む修了要件等、詳しくはそれぞれのキャンパスのホームページでも紹介しています。

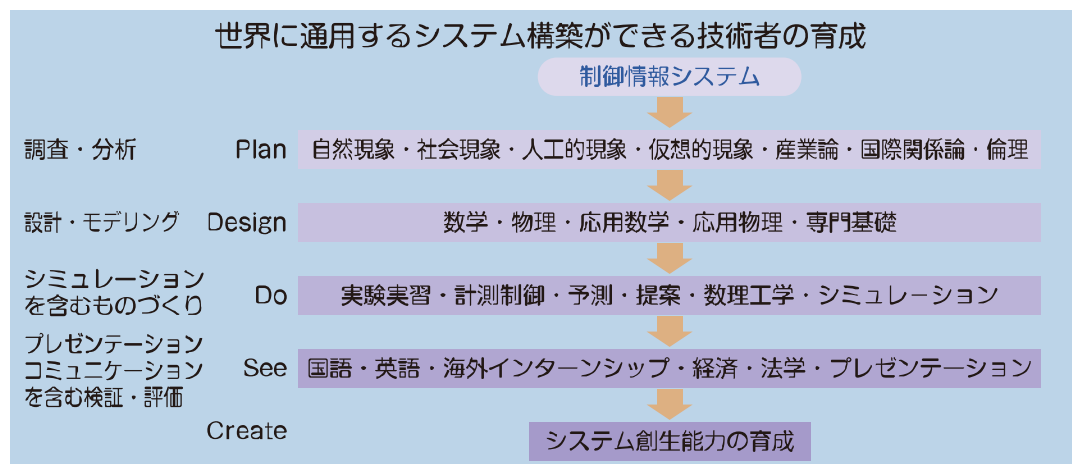
エコデザイン 工学 プログラム

エコデザイン工学専攻では、本郷キャンパス機械工学科、電気工学科、物質工学科、環境材料工学科4学科の4、5年と専攻科エコデザイン工学専攻を複合した「エコデザイン工学」教育プログラムを設定しています。



制御情報 システム工学 プログラム

制御情報システム工学専攻では、射水キャンパス電子制御工学科・情報工学科4、5年生（一部3年生履修科目を含む）からの一貫した「制御情報システム工学」教育プログラムを設定しています。



■ 教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学評価・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書(評価結果)及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

2 大学評価・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は旧8学科に対応する4専攻からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは、5年間に一度、大学評価・学位授与機構による審査を受けることになっており、本校専攻科は、統合した平成21年度に審査を受け、認定されました。平成26年度には、統合後の新学科で学んだ卒業生を受け入れるため、新たに審査を受審する予定です。

3 日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査

準学士課程4、5年と専攻科を合わせた教育プログラムの、日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定審査について、平成16年度に機械工学科、電気工学科、物質工学科、環境材料工学科及び専攻科で「エコデザイン工学プログラム」について認定を受け、平成21年度の継続審査で再認定を受けています。

また、平成20年度に電子制御工学科、情報工学科及び専攻科で「制御情報システム工学プログラム」について認定を受けています。

4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは卒業時の海技士資格(国際標準)取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。富山高等専門学校の商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

■ 本校の沿革

旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

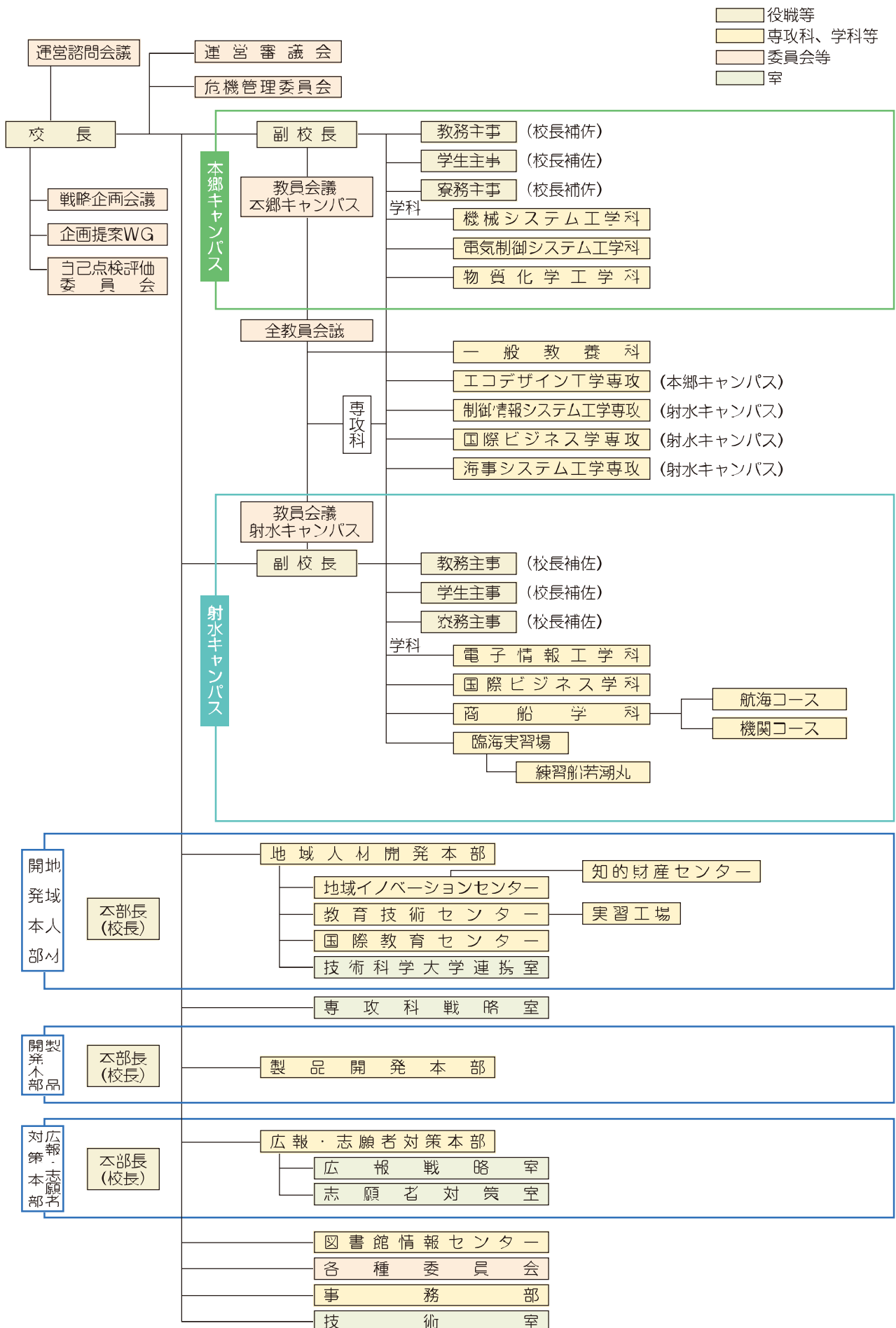
旧 富山商船高等専門学校

- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙行
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入

組織図



■ 役職者名簿

校長 石原 外美

■ 本郷キャンパス

副校長 西田 均
 教務主事（校長補佐） 西 敏行
 学生主事（校長補佐） 青山 晶子
 寮務主事（校長補佐） 高熊 哲也
 機械システム工学科長 寺西 恒宣
 電気制御システム工学科長 柴田 博司
 物質化学工学科長 川淵 浩之

■ 射水キャンパス

副校長 成瀬 喜則
 教務主事（校長補佐） 新開 純子
 学生主事（校長補佐） 水谷淳之介
 寮務主事（校長補佐） 水本 茂
 電子情報工学科長 塚田 章
 国際ビジネス学科長 西原 雅博
 商船学科長 八賀 正司
 航海コース主任 中谷 俊彦
 機関コース主任 八賀 正司
 臨海実習場長 中谷 俊彦
 練習船若潮丸船長 田近 茂樹

■ 専攻科

専攻科長（校長補佐） 遠藤 真
 副専攻科長（本郷キャンパス） 岡根 正樹
 副専攻科長（射水キャンパス） 遠藤 真

■ 一般教養科

一般教養科長 富田 尚
 本郷キャンパス主任 富田 尚
 射水キャンパス主任 岡部 寛子

■ 地域人材開発本部

地域人材開発本部長 石原 外美
 地域イノベーションセンター長 高田 英治
 知的財産センター長 袋布 昌幹
 教育技術センター長 本江 哲行
 国際教育センター長 樽 伸司
 技術科学大学連携室長 井上 誠

■ 専攻科戦略室

専攻科戦略室長 西田 均

■ 製品開発本部

製品開発本部長 石原 外美

■ 広報・志願者対策本部

広報・志願者対策本部長 石原 外美
 広報戦略室長 本江 哲行
 志願者対策室長 長谷川 博

■ 図書館情報センター

図書館情報センター長 寺西 恒宣
 副センター長（本郷キャンパス） 寺西 恒宣
 副センター長（射水キャンパス） 見上 博

■ 事務部

事務部長 林 興一
 総務課長 小林 正幸
 管理課長 竹山富士男
 学務課長 松梨 英輔
 学生課長 山田 豊

■ 技術室

技術室長 成瀬 喜則

■ 教職員の現員

平成26年5月1日

教 員	校 長	1
	教 授	51
	准 教 授	57
	講 師	0
	助 教	24
	助 手	1
職 員	小 計	134
	事 務 職 員	60
	技 術 職 員	26
	小 計	86
	合 計	220
学 科 等	機械システム工学科	13
	電気制御システム工学科	14
	物質化学工学科	13
	電子情報工学科	14
	国際ビジネス学科	12
	商 船 学 科	16
	一般教養科（本郷）	16
一般教養科（射水）	16	
	専 攻 科 専 任	10
	セ ン タ ー 専 任	5
	練 習 船 若 潮 丸	4
	合 計	133

3 学科紹介

■ 機械システム工学科

「機械」で未来を動かそう！

世の中にまだ無いものを作ることに興味はありませんか？

人の役に立つものを作ることに興味はありませんか？

製作することが困難であればあるほど、できた時の達成感は大きくなります。

一緒に「機械の英知」で未来を動かしてみませんか。

そのような学生を私たちは待っています。



機械システム工学科

教育目標

ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機器設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。

機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。

機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
工 学 部 日 科 門 セ	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理人PC	1		1					
	情報基礎	1		1					
	工業力学Ⅰ	1			1				
	工業力学Ⅱ	1				1			
	基礎工学実験Ⅰ	1				1			
	工業力学演習		1			1			
	機械製造Ⅰ		2			2			
	実践ものづくりⅠ		1			1			
	情報処理Ⅰ		1			1			
	基礎材料工学Ⅰ	1					1		
	材料力学Ⅰ	1					1		
	熱力学Ⅰ	1					1		
	製作実習Ⅱ	2					2		
	基礎工学実験Ⅱ	2					2		
	エネルギー機械		1				1		
	応用物性Ⅰ		2				2		
	基礎材料工学Ⅱ		1				1		
	材料力学Ⅱ		1				1		
	製造と加工Ⅰ		1				1		
	設備工学		1				1		
	設備製造Ⅰ		1				1		
	情報処理Ⅱ		1				1		
	流体力学Ⅰ	1						1	
	基礎研究	1						1	
	システム工学実験Ⅰ	1						1	
	システム工学実験Ⅱ	1						1	
	熱力学Ⅱ		2					2	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	電気・電子回路		1					1	
	機械計測工学		1					1	
	材料力学Ⅲ		1					1	
	システム設計		1					1	
	実用英会話Ⅰ		1					1	
	製造と加工Ⅱ		1					1	
	鉄鋼材料		1					1	
	材料分析工学		1					1	
	流体力学Ⅱ		1					1	
	非鉄金属材料		1					1	
	機械力学		1					1	
	プログラミング基礎		1					1	
	応用数学Ⅲ		1					1	
	応用物性Ⅱ		1					1	
	材料プロセス		1					1	
	伝熱工学		1					1	
	反応熱力学		2					2	
	要素設計		1					1	
	インターンシップ		2					2	(学外) 集中
	安全工学	1							1
	システム工学実験Ⅲ	1							1
	卒業研究	10							10
	制御工学Ⅰ			1					1
	材料物性Ⅰ			1					1
	実用英会話Ⅱ			1					1
	環境強度Ⅰ			1					1
	シミュレーションⅠ			1					1
	生産・品質管理			1					1
	応用数学Ⅳ			1					1
	振動工学			2					2
	材料物性Ⅱ			2					2
	環境強度Ⅱ			1					1
	有機材料			1					1
	流体力学			1					1
	熱機			1					1
	制御工学Ⅱ			1					1
	強度設計			1					1
	製造と加工Ⅲ			1					1
	応用プログラミング			1					1
	材料強度学			1					1
	機械システム工学特論			1					1
	小計(72科目)		31	61	5	9	16	29	33
合計(141科目)		40	160						設科目との合計

電気工学と機械工学の融合

夢のようなテクノロジーを実現できるエンジニアへ

電気、機械、情報の3分野をバランスよく学び、
実験・実習や複合科目を通して、
それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた
実践的な技術者を育成します。

卒業後は、電気技術者、機械技術者、または、それらを融合した
ロボットなどを開発する技術者など、幅広い進路の選択が可能です。



電気制御システム工学科

教育目標

電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。

電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、
数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
工 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	基礎電気工学	2			2				
	情報処理	2			2				
	設計製図Ⅰ	2			2				
	ものづくり工学	1			1				
	基礎Ⅰ学実験	2			2				
	システム工学実験Ⅰ	2					2		
	基礎工学演習		1				1		
	応用物理Ⅰ		1				1		
	電気磁気学Ⅰ		2				2		
	電気回路Ⅰ		2				2		
	コンピュータサイエンス		2				2		
	設計製図Ⅱ		2				2		
	工業力学		2				2		
	メカトロ基礎工学		2				2		
	システム工学実験Ⅱ	2						2	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	応用物理Ⅱ		1					1	
	応用数学Ⅲ		1					1	
	工業英語Ⅰ		1					1	
	電気磁気学Ⅱ		1					1	
	電気磁気学Ⅲ		1					1	
	電気回路Ⅱ		2					2	
	電気回路Ⅲ		1					1	
	電気機械Ⅰ		2					2	
	電子回路Ⅰ		1					1	
	電子回路Ⅱ		1					1	
	計算機システムⅠ		1					1	
	計測Ⅰ学Ⅰ		1					1	
	制御工学Ⅰ		1					1	
	制御工学Ⅱ		1					1	
	機械力学Ⅰ		2					2	
	流体力学		1					1	
	熱力学		1					1	
	機械工作法		1					1	
	材料力学Ⅰ		2					2	
	材料力学Ⅱ		1					1	
	メカトロ創造設計		2					2	
	インターンシップ		2					2	(学外) 集中
	基礎研究		1	1				1	
	システム工学実験Ⅲ	1							1
	卒業研究	10							10
	応用数学Ⅳ		1						1
	工業英語Ⅱ		1						1
	電気材料		2						2
	電気機械Ⅱ		2						2
	パワーエレクトロニクス		1						1
	電子工学Ⅰ		1						1
	電子工学Ⅱ		1						1
	通信工学		2						2
	計算機システムⅡ		1						1
	計測工学Ⅱ		1						1
	制御工学Ⅲ		1						1
	シミュレーション工学		2						2
	システム工学		1						1
	ロボットⅠ学Ⅰ		1						1
	ロボットⅠ学Ⅱ		1						1
	機械力学Ⅱ		2						2
	流体制御工学		1						1
	エネルギー変換工学		1						1
	CAD/CAM/T学		2						2
	材料学		2						2
小計(65科目)		29	72	5	9	16	33	38	
合計(134科目)		38	171					一抜科目との合算	

■物質化学工学科

化学のおもしろさと出会いながら 実験を通して確かな技術と知識を

化学・生物化学を中心とした学科です。

有機化学・無機化学・生物化学を代表とする中心的基礎科目は講義と実験の二本立ての授業を行うことにより確かな知識と基礎的技術が修得できます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等に関する最先端の知識と技術を修得することにより、化学・医薬品工業分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



物質化学工学科

教育目標

化学・生物化学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。

環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。

地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社會構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
工 学 部 日 科	ものづくり基礎Ⅰ学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	分析化学実験	3			3				
	有機化学Ⅰ		1			1			
	無機化学Ⅰ			2		2			
	分析化学Ⅰ			1		1			
	生物化学Ⅰ			1		1			
	情報処理Ⅰ			1		1			
	有機化学実験	2					2		
	無機化学実験	2					2		
	物理化学実験	2					2		
	特別実験	1					1		
	有機化学Ⅱ			1			1		
	分析化学Ⅱ			1			1		
	基礎化学工学			2			2		
	基礎生物化学			2			2		
	無機化学Ⅱ			1			1		
	物理化学Ⅱ			2			2		
	無機化学Ⅲ			1			1		
	化学工学実験	2						2	
	生物化学実験	2						2	
	基礎研究	1						1	
	応用数学Ⅰ			1				1	
	応用数学Ⅱ			1				1	
	応用物理Ⅰ			1				1	
	有機化学Ⅲ			1				1	
	有機工業化学			2				2	
	無機工業化学			2				2	
	無機化学Ⅳ			1				1	
	化学工学Ⅰ			1				1	
	生物化学Ⅰ			1				1	
	物理化学Ⅱ			1				1	
	材料工学Ⅰ			1				1	
	材料工学Ⅱ			1				1	
	機系分析Ⅰ			1				1	
	情報処理Ⅱ			1				1	
	有機材料Ⅰ学実験			2				2	
	無機材料Ⅰ学実験			2				2	
	化学実話 a			2				2	
	化学実話 b			2				2	
	応用物理Ⅱ			1				1	
	有機化学Ⅳ			1				1	
	生物化学Ⅱ			1				1	
	物理化学Ⅲ			1				1	
	インターンシップ			2				2	(学外) 集中
	卒業研究		10						10
	反心工			1					1
	先端化学Ⅰ a			2					2
	先端化学Ⅰ b			2					2
	先端化学Ⅱ a			2					2
	先端化学Ⅱ b			2					2
	応用数学Ⅲ			1					1
	応用数学Ⅳ			1					1
	応用物理Ⅲ			1					1
	応用物理Ⅳ			1					1
	有機化学Ⅴ			1					1
	高分子化学			1					1
	化学工学Ⅱ			1					1
	分子生物学			1					1
	遺伝子工学			1					1
	薬理			1					1
	機器分析特論			1					1
	Tマテリアル			1					1
	機器分析Ⅱ			1					1
	C A D			1					1
	品質管理			1					1
	安全工学			1					1
	環境科学			1					1
	物質化学Ⅰ学特論			1					1
	小計(71科目)		30	74	5	10	17	35	37
合計(140科目)		39	173					一般科目との合計	

近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、
「自ら考えてものをつくる」ための
総合的な専門知識技能を身につけます。
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



電子情報工学科 教育目標

システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
工	ものづくり基礎Ⅰ学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	基礎電気Ⅰ	1			1				
	基礎電気Ⅱ	1			1				
	計算機システム	1			1				
	論理回路	1			1				
	プログラミングⅠ	1			1				
	プログラミングⅡ	1			1				
	工学演習Ⅰ	1			1				
	電子情報工学実験Ⅰ	2			2				
	電子情報工学実験Ⅱ	3					3		
	応用物性Ⅰ		1				1		
	応用物性Ⅱ		1				1		
門	電気回路Ⅰ		1			1			
	電気回路Ⅱ		1			1			
	電子回路Ⅰ		1			1			
	電子回路Ⅱ		1			1			
	プログラミングⅢ		1				1		
	計算機構成論Ⅰ		1				1		
	計算機構成論Ⅱ		1				1		
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ		1				1		
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ		1				1		
	情報数学Ⅰ		1				1		
	工学演習Ⅱ		1				1		
	電子情報工学実験Ⅲ	3						3	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
科	応用物性Ⅲ		1				1		
	応用物性Ⅳ		1				1		
	電気磁気Ⅰ		1				1		
	電気磁気Ⅱ		1				1		
	電気回路Ⅲ		1				1		
	センサⅠ		1				1		
	電子システムⅠ		1				1		
	電子システムⅡ		1				1		
	電子通信工学Ⅰ		1				1		
	電子通信工学Ⅱ		1				1		
	通信システムⅠ		1				1		
	通信システムⅡ		1				1		
	オペレーティングシステムⅠ		1				1		
	オペレーティングシステムⅡ		1				1		
日	デジタル信号処理Ⅰ		1				1		
	デジタル信号処理Ⅱ		1				1		
	数値計算		1				1		
	情報数学Ⅱ		1				1		
	創造Ⅰ学設計Ⅰ		2				2		
	創造Ⅰ学設計Ⅱ		2				2		
	インターンシップ		2				2		(学外) 集口
	卒業研究	10						10	
	応用数学Ⅲ		2					2	
	応用数学Ⅳ		2					2	
	技術英語		1					1	
	電子デバイス		1					1	
	制御Ⅰ学Ⅰ		1					1	
	制御Ⅰ学Ⅱ		1					1	
電子回路Ⅳ		1					1		
コンピュータ計測Ⅰ		1					1		
コンピュータ計測Ⅱ		1					1		
電波Ⅰ学		1					1		
応用電磁システム		1					1		
情報ネットワークⅠ		1					1		
情報ネットワークⅡ		1					1		
ソフトウェア工学Ⅰ		1					1		
ソフトウェア工学Ⅱ		1					1		
メディアⅠ学Ⅰ		1					1		
メディアⅠ学Ⅱ		1					1		
計算工学Ⅰ		1					1		
計算工学Ⅱ		1					1		
情報理論		1					1		
小計(14科目)		30	62	5	9	16	29	33	
合計(140科目)		39	161						一般科目との合計

■国際ビジネス学科

富山から環日本海へ そして世界へ ビジネスシーンでキラめく“智究人”！

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語という、
2つの“使える外国語能力”を身につけ、
ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を処理して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、
環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、国際的に活躍し、
地域社会や地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身につけ、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力を身につけたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
七	養 学 概 論 I	1		1						
	養 学 概 論 II	1		1						
	情 報 基 礎 I	1		1						
	情 報 基 礎 II	1		1						
	情 報 基 礎 演 習 I	1		1						
	物 流 概 論 I	1				1				
	マ ケ テ イ ン グ 論 I		1			1				
	マ ケ テ イ ン グ 論 II		1			1				
	会 計 学 概 論 I	1				1				
	会 計 学 概 論 II	1				1				
	情 報 基 礎 III		1			1				
	情 報 基 礎 演 習 II		1			1				
	英 語 演 習 I	1						1		
	英 語 演 習 II	1						1		
	流 通 ア ー タ 分 析 I		1		1					
	流 通 ア ー タ 分 析 II		1		1					
	財 務 会 計 論 I		1		1					
	財 務 会 計 論 II		1		1					
	経 済 学 概 論 I	1						1		
	経 済 学 概 論 II	1						1		
	法 学 概 論 I	1						1		
	法 学 概 論 II	1						1		
	経 営 学 概 論 I	1						1		
	経 営 学 概 論 II	1						1		
	環 日 本 海 社 会 経 済 史 I	1						1		
	環 日 本 海 社 会 経 済 史 II	1						1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 I (中 国 語)		1					1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 I (韓 国 語)		1					1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 I (ロ シ ア 語)		1					1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 II (中 国 語)		1					1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 II (韓 国 語)		1					1		
	環 日 本 海 諸 国 語 演 習 II (ロ シ ア 語)		1					1		
	ビ ジ ネ ス サ ミ ナ ー ル I	1						1		
	ビ ジ ネ ス サ ミ ナ ー ル II	1						1		
	田 際 物 流 論 I		1					1		
	田 際 物 流 論 II		1					1		
	管 理 会 計 論 I		1					1		
	管 理 会 計 論 II		1					1		
	氏 法 I		1					1		
	氏 法 II		1					1		
	経 営 戦 略 論 I		1					1		
	経 営 戦 略 論 II		1					1		
	経 営 情 報 I		1					1		
	経 営 情 報 II		1					1		
	環 日 本 海 社 会 経 済 史 III		1					1		
環 日 本 海 社 会 経 済 史 IV		1					1			
ト ピ ッ ク ス 演 習 I		2					2			
ト ピ ッ ク ス 演 習 II		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 演 習 III (中 国 語)		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 演 習 III (韓 国 語)		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 演 習 III (ロ シ ア 語)		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 I (中 国 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 I (韓 国 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 I (ロ シ ア 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 II (中 国 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 II (韓 国 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 II (ロ シ ア 語)		1					1			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 III (中 国 語)		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 III (韓 国 語)		2					2			
環 日 本 海 諸 国 語 表 現 III (ロ シ ア 語)		2					2			
金 融 論 I		1					1			
金 融 論 II		1					1			
国 際 ビ ジ ネ ス 論							1			
デ ー タ ベ ー ス 論							1			
イ ン タ ー ン シ ッ プ							?		(学外) 集中	
卒 業 研 究		10						10		
流 通 シ ス テ ム 論 I		1						1		
流 通 シ ス テ ム 論 II		1						1		
ビ ジ ネ ス 英 語 演 習 I		1						1		
ビ ジ ネ ス 英 語 演 習 II		1						1		
ト ピ ッ ク ス 演 習 III		2						2		
ビ ジ ネ ス 環 日 本 海 諸 国 語 (中 国 語)		2						2		
ビ ジ ネ ス 環 日 本 海 諸 国 語 (韓 国 語)		2						2		
ビ ジ ネ ス 環 日 本 海 諸 国 語 (ロ シ ア 語)		2						2		
ト ピ ッ ク ス 環 日 本 海 諸 国 語 (中 国 語)		2						2		
ト ピ ッ ク ス 環 日 本 海 諸 国 語 (韓 国 語)		?						?		
ト ピ ッ ク ス 環 日 本 海 諸 国 語 (ロ シ ア 語)		?						?		
海 運 論 I		1						1		
海 運 論 II		1						1		
保 険 論 I		1						1		
保 険 論 II		1						1		
ビ ジ ネ ス 人 と 法 I		1						1		
ビ ジ ネ ス 人 と 法 II		1						1		
経 営 管 理 論 I		1						1		
経 営 管 理 論 II		1						1		
経 営 科 学 I		1						1		
経 営 科 学 II		1						1		
環 日 本 海 社 会 地 域 経 済 論 I		1						1		
環 日 本 海 社 会 地 域 経 済 論 II		1						1		
英 語 関 係 文 化 実 習		1					1		集中	
環 日 本 海 諸 国 語 文 化 実 習		1					1		集中	
英 語 フ レ ゼ ン		2						2		
小 計 (91科目)		31	95	5	9	20	44	60		
合 計 (153科目)		39	202						設 科 目 と の 合 計	

サービスエリアは地球 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト

「航海コース」と「機関コース」との2つから成る複合学科で、海と船で使われる様々なテクノロジーを勉強し、世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、即戦力を身につけます。大きな船で海外へ航海に出るのべ一年間の乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、卒業は6年生の9月になります。



商船学科 教育目標

船舶のスペシャリストとして必要な専門知識を身につけます。

船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築ができるように実験や実習を通して専門的な能力を育成します。

船舶システムを良好に運用するのに必要なマナーとシーマンシップを実習や艇によって習得します。

専門的な応用力が開発できるよう、知識、技術、管理能力の基礎を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
航海・機関 共通科目	必修科目	船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
		船舶機関図	1					
	選択科目	航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
		航空機工学	1					
航海Ⅰ	必修科目	航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
	選択科目	航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
		航海Ⅰ	1					
航海Ⅱ	必修科目	航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
	選択科目	航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
		航海Ⅱ	1					
機関Ⅰ	必修科目	機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
	選択科目	機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
		機関Ⅰ	1					
機関Ⅱ	必修科目	機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
	選択科目	機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
		機関Ⅱ	1					
必修科目合計		62単位以上						

■一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum 工学系4学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
一般科目	総合国語ⅠA		2	2						
	総合国語ⅠB		2	2						
	総合国語Ⅱ		2		2					
	総合国語Ⅲ		2				2			
	山誌発表現		1					1		
	日本文学講読		1						1	
	歴史Ⅰ		2		2					
	歴史Ⅱ		2			2				
	歴史Ⅰ		1						1	
	歴史Ⅱ		1					1		
	倫理Ⅰ		2			2				
	政治学Ⅰ		1						1	
	政治学Ⅱ		1						1	
	政治・経済学Ⅰ		2				2			
	経済学Ⅰ		1						1	
	経済学Ⅱ		1						1	
	法		1							1
	基礎数学AⅠ	2		2						
	基礎数学AⅡ	2		2						
	基礎数学B	2		2						
	数学演習Ⅰ	1		1						
	微分積分	4				4				
	線形代数	2				2				
	解析	4					4			
	総合数学Ⅰ	1					1			
	数学特講Ⅰ	1							1	
	数学特講Ⅱ	1							1	
	統計学Ⅰ	1							1	
	物理学Ⅰ(*)	[3]	(2)	[3]	(2)					
	物理学Ⅱ	2				2				
	物理学Ⅲ	1					1			
	化学Ⅰ(*)	(3)	[2]	(3)	[2]					
	化学Ⅱ	2				2				
	体育Ⅰ	1		1						
	体育Ⅱ	2		2						
	体育Ⅲ	2					2			
	体育Ⅳ	1						1		
	体育Ⅴ	1							1	
	音楽	1		1						
	美術	1		1						
	芸術	1		1						
	総合英Ⅰ	3		3						
	総合英Ⅱ	3				3				
	総合英Ⅲ	3					3			
	総合英Ⅳ	1						1		
	総合英Ⅴ	1						1		
	英Ⅰ	2		2						
	英Ⅱ	2				2				
	英Ⅲ	2					2			
	英Ⅰ	1		1						
英Ⅱ	1			1						
英Ⅰ	1						1			
英Ⅱ	1						1			
英Ⅲ	1							1		
環日本海諸国語Ⅰ(中Ⅰ語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅰ(韓Ⅰ語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅱ(中Ⅱ語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅱ(韓Ⅱ語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)	1						1			
環日本海諸国語Ⅲ(中Ⅲ語)	1							1		
環日本海諸国語Ⅲ(韓Ⅲ語)	1							1		
環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	1							1		
英語圏異文化実習	3						3		集中	
環日本海諸国語Ⅰ文化実習	3						3		集中	
海洋フィールドエンジニアリング	1						1			
小計(69科目)	9	99								

(*) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は、「物理学Ⅰ」が3単位必修、「化学Ⅰ」が2単位選択。
物質化学工学科は、「化学Ⅰ」が3単位必修、「物理学Ⅰ」が2単位選択。

Curriculum 国際ビジネス学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
一般科目	総合英語 I A	2		2					
	総合英語 I B	2		2					
	総合英語 II		2		2				
	総合英語 III		2			2			
	英語表現 現		1					1	
	日本文学 講義		1						1
	歴史 I		2		2				
	歴史 II		2			2			
	歴史学 I		1					1	
	歴史学 II		1					1	
	地理		2		2				
	倫理		2			2			
	社会学 I		1					1	
	社会学 II		1					1	
	政治・経済		2				2		
	経済学 I		1					1	
	経済学 II		1					1	
	法学		1						1
	数学 I		2		2				
	数学 II		2			2			
	数学 III		2				2		
	理科 I		2		2				
	理科 II		2			2			
	保健		1		1				
	体育 I		2		2				
	体育 II		2			2			
	体育 III		2				2		
	体育 IV		1					1	
	体育 V		1						1
	音楽		1		1				
	美術		1		1				
	書道		1		1				
	総合英会話 I	2			2				
	総合英会話 II	2				2			
	総合英会話 III		2				2		
	総合英会話 IV		1					1	
	総合英会話 V		1					1	
	総合英会話		1						1
	英語表現 Ⅰ		2		2				
	英語表現 Ⅱ		2			2			
	英会話 Ⅰ		4		4				
	英会話 Ⅱ		4			4			
	英会話 Ⅲ		2				2		
	英会話 Ⅳ		1					1	
	英会話 Ⅴ		1					1	
グローバル・リサーチ		1				1			
環日本海諸国語Ⅰ(中国語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅰ(韓国語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅰ(ロシア語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅱ(中国語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅱ(韓国語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅱ(ロシア語)		2		2					
環日本海諸国語Ⅲ(中国語)		4			4				
環日本海諸国語Ⅲ(韓国語)		4			4				
環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)		4			4				
環日本海諸国語Ⅳ(中国語)		4				4			
環日本海諸国語Ⅳ(韓国語)		4				4			
環日本海諸国語Ⅳ(ロシア語)		4				4			
言語学 I		1					1		
言語学 II		1					1		
海洋ワールドエンジニアリング		1					1		
小計 (62科目)		8	10/	38	32				

Curriculum 商船学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
一般科目	総合国語 I A		2	2						
	総合国語 I B		2	2						
	総合国語 II		2		2					
	総合国語 III		2			2				
	国語表現		1					1		
	日本文学		1					1		
	歴史 I		2	2						
	歴史 II		2			2				
	歴史学 I		1						1	
	歴史学 II		1						1	
	地理 I		2	2						
	地理 II		2			2				
	哲学 I		1						1	
	哲学 II		1						1	
	政治・経済		2				2			
	経済学 I		1						1	
	経済学 II		1						1	
	法学		1					1		
	基礎数学 A I	2		2						
	基礎数学 A II	2		2						
	基礎数学 B	2		2						
	微積分		4		4					
	線形代数		2		2					
	解析学		4				4			
	統計学		1				1			
	総合数学		1				1			
	数学特講 I		1						1	
	数学特講 II		1						1	
	物理学 I	2		2						
	物理学 II		2		2					
	物理学 III		1				1			
	化学 I		2	2						
	化学 II		2			2				
	保健		1	1						
	体育 I		2	2						
	体育 II		2			2				
	体育 III		2				2			
	体育 IV		1					1		
	体育 V		1						1	
	音楽		1	1						
	美術		1	1						
	書道		1	1						
	総合英語 I		3	3						
	総合英語 II		3			3				
	総合英語 III		2				2			
総合英語 IV		1					1			
総合英語 V		1						1		
総合英語 VI		1						1		
英語表現 I		2	2							
英語表現 II		2			2					
英語表現 III		2				2				
英会話 I		1	1							
英会話 II		1			1					
英会話演習 I		1						1		
英会話演習 II		1						1		
英語演習 I		1						1		
英語演習 II		1						1		
英語演習 III		1						1		
環日本海諸国語I(中国語)		1					1			
環日本海諸国語I(韓国語)		1					1			
環日本海諸国語I(ロシア語)		1					1			
環日本海諸国語II(中国語)		1						1		
環日本海諸国語II(韓国語)		1						1		
環日本海諸国語II(ロシア語)		1						1		
環日本海諸国語III(中国語)		1						1		
環日本海諸国語III(韓国語)		1						1		
環日本海諸国語III(ロシア語)		1						1		
英語圏異文化実習		3					3		共中	
環日本海諸国語文化実習		3					3		集中	
海洋フィールドエンジニアリング		1					1			
小計 (70科目)		8	100	30	24					

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。

■エコデザイン工学専攻

機械・電気システム工学コース

機械系あるいは電気系の工学分野で修得した知識・技術を基とし、機械・電気・制御の知識を駆使し高度化した複合システムの開発を支える技術者を育成します。

機能材料工学コース

最近の技術革新を支える種々の機能材料を中心とした研究・開発能力を有する創造的技術者を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年前	1年後	2年前	2年後	
専攻科 共通科目	応用解析学	2	2				
	量子論	2	2				
	エネルギー論	2		2			
	制御工学	2	2				
	物質工学	2	2				
	環境工学	2			2		
	プログラミング演習	1	1				
	生物工学	2				2	
	移動環境工学	2			2		
	材料工学Ⅰ	2	2				
	工学倫理	2				2	
	機械工学Ⅰ	2		2			
	技術と環境	2			2		
	MOET入門	2	2				
	工業数学	2		2			
	インターシップ	2		2			
特別演習	2	2					
特別実験	2		2				
国際インターシップ	3		3				
(共通科目開設単位計)	38	13	15	6	4		
専攻科 専門科目	振動エネルギー工学	2				2	
	応用精密加工学	2	2				
	メカトロニクス	2	2				
	シミュレーション工学演習	1		1			
	ロボット工学演習	1		1			
	エネルギー機械演習	1			1		
	流体工学特論	2	2				
	熱工学特論	2			2		
	弾塑性力学	2				2	
	振動工学特論	2				2	
	パワーエレクトロニクス	2	2				
	電子物性論	2			2		
	薄膜工学	2				2	
	電磁波工学	2		2			
	機械・電気システム工学特論	2				2	集中講義
	(機械・電気システム工学特別研究 (機械・電気システム工学コース 開設単位計))	14	2	2	6	4	
	(機械・電気システム工学コース 開設単位計)	41	10	6	11	14	
	応用化学	2	2				
	機能材料物理化学	2	2				
	材料機械工学	2		2			
機器分析特論	2			2			
無機材料特論	2				2		
物理化学特論	2	2					
機能性高分子材料	2	2					
精密機械合成化学	2			2			
生体物質機能概論	2			2			
天然物化学	2				2		
金属材料加工学	2	2	2				
材料プロセス工学	2	2					
材料物性工学Ⅱ	2				2		
複合材料工学	2				2		
機能材料工学特論	2				2	集中講義	
(機能材料工学特別研究 (機能材料工学コース 開設単位計))	14	2	2	6	4		
(機能材料工学コース 開設単位計)	44	10	8	12	14		
機械・電気システム工学コース 専攻科目 開設単位 小計	79	23	21	17	18		
機能材料工学コース 専攻科目 開設単位 小計	82	23	23	18	18		
機械・電気システム工学コース 一般・専門科目 開設単位 合計	95	27	25	19	24		
機能材料工学コース 一般・専門科目 開設単位 合計	98	27	27	20	24		
一般・専門科目 修得単位 合計		62	単位以上修得				

※)印 必修科目

■ 制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期A	学期B	学期C	学期D	
専 門 共 通 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2	
	○技術英語A	2			2		
	○応用数学特論	2	2				
	○応用物理学特論	2	2				
	技術英語B	2			2		
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2			2		
	経営戦略特論	2		2			
	イノベーション・リサーチ	2			2		
	情報処理学	2	2				
	コミュニケーション学	2		2			
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2			2		
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(英語)	3	3				
専門共通科目開設単位数	31	11	6	6	8		
専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究	14	2	2	5	5	
	○制御情報システム 学実習	4	2	2			
	○制御情報システム工学演習	4	2	2			
	プロジェクト追加プログラミング	2		2			
	計測制御システム工学	2	2				
	量子エレクトロニクス	2		2			
	機能システム制御	2	2				
	電子物件工学	2	2				
	パターン認識I学	2			2		
	生体情報工学	2			2		
	計 算 工 学	2		2			
	ネットワークシステム工学	2			2		
	知能情報処理工学	2		2			
	専門専攻科目開設単位数	42	10	16	11	5	
	専門科目開設単位数計	73	21	22	17	13	
一般・専門科目単位数計	89	25	24	21	19		
修得単位数合計	62 単 位 以 上						

※ ○印 必修科目

■ 国際ビジネス学専攻

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			学期A	学期B	学期C	学期D		
専 門 共 通 科 目	○技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語A	2			2			
	技術英語B	2				2		
	国際関係論	2				2		
	○経営戦略特論	2		2				
	イノベーション・リサーチ	2			2			
	情報処理学	2	2					
	M O T 入 門	2			2			
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(英語)	3	3					
	専門共通科目開設単位数	21	7	2	6	6		
	専 門 専 攻 科 目	○国際ビジネス学特別研究	16	4	4	4	4	
		○経営学特論Ⅰ	2	2				
		○経営学特論Ⅱ	2		2			
		専門英書講読	2		2			
○技術・産業演習		2	2					
○経営管理特論		2	2					
○環日本海ビジネス実習		2	2					
○国際ビジネス特論		2		2				
○数理意思決定論		2			2			
応用情報処理論		2			2			
ビジネス会計論		2			2			
○マーケティング特論		2		2				
環境マーケティング論		2				2		
○現代流通論		2	2					
○尚 業 英 語		2		2				
○経営システム分析論	2		2					
経営システム科学論	2				2			
専門専攻科目開設単位数	50	14	18	10	8			
専門科目開設単位数計	71	21	20	16	14			
一般・専門科目単位数計	87	25	22	20	20			
修得単位数合計	62 単 位 以 上							

※ ○印 必修科目

■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
専 門 共 通 科 目	○技術者倫理・企業倫理	2	2				
	技術英語B	2	2				
	○応用数学特論	2		2			
	応用物理学特論	2		2			
	技術英語A	2			2		
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2		2			
	経営戦略特論	2		2			
	プレゼンテーション・リサーチ	2			2		
	情報処理学	2	2				
	コミュニケーション工学	2		2			
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2	2				
	インターシップA(国内)	2		2			
インターシップB(外国)	3		3				
専門共通科目開設単位数		31	6	11	8	6	
専 門 専 攻 科 目	○海事システム工学特論研究I	9	2	2	5		
	○海事システム工学特論研究II	5			5		
	海事システム工学実践	4	2	2			
	○海中システム工学演習	4	2	2			
	港 湾 実 務	2			2		
	沿 湾 物 流	2			2		
	船用制御システム	2		2			
	ナビゲーション・システム	2			2		
	輸送機器デザイン	2			2		
	海洋環境・情報工学	2			2		
	熱機関工学特論	2	2				
	高速空気力学	2		2			
	伝熱工学特論	2	2				
	電子工学特論	2	2				
地球科学概論	2	2					
専門専攻科目開設単位数		44	14	10	11	9	
専門科目開設単位数計		75	20	21	19	15	
一般・専門科目開設単位数計		87	24	23	21	19	
修得単位数合計		62 単 位 以 上					

※ ○印 必修科目

※ 海中システム工学専攻は10月入学となります。

■ 専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年前	1年後	2年前	2年後	
一 般	日本文学	2				2	
	日△近代経済史	2			2		
	思想文化史	2				2	
	○環境社会学	2				2	
外 国 語	○英語 I	2	2				
	○英語 II	2		2			
	英語コミュニケーションI	2	2				
	英語コミュニケーションII	2		2			
一般科目 開設単位 小計		16	4	4	2	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年	2年	3年	4年		
			学期A	学期B	学期C	学期D		
制 御 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	○英語特論 I	2	2					
	○英語特論 II	2		2				
	応用英語	2	2					
	□△語・□△本文学	2				2		
	地域社会研究	2			2			
	健康科学	2				2		
	産業特論	2			2			
	環日本河文化論	2				2		
	一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年	2年	3年	4年		
			学期A	学期B	学期C	学期D		
国 際 ビ ジ ネ ス 学 専 攻	英語特論 I	2	2					
	英語特論 II	2		2				
	○応用英語	2	2					
	日本語・日本文学	2				2		
	地域社会研究	2			2			
	健康科学	2				2		
	産業特論	2			2			
	環日本海文化論	2				2		
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6		

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年	2年	3年	4年		
			学期D	学期A	学期B	学期C		
海 事 シ ス テ ム 工 学 専 攻	○英語特論 I	2		2				
	○英語特論 II	2			2			
	応用英語	2		2				
	日本語・日本文学	2	2					
	地域社会研究	2				2		
	健康科学	2	2					
	産業特論	2				2		
	環日本海文化論	2	2					
一般科目開設単位数		16	6	4	2	4		

※ ○印 必修科目

5 教員名簿

機械システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	井上 誠 Inoue Makoto	製造と加工Ⅲ 非鉄金属材料
教授 Professor	博士(工学)	前根 止彦 Okane Masaki	材料力学Ⅰ、Ⅱ 強度設計
教授 Professor	博士(工学)	佐瀬 直彦 Sase Naoki	機構学 製造と加工
教授 Professor	博士(工学)	高橋 勝彦 Takahashi Katsuhiko	設計製図 材料プロセス
教授 Professor	博士(工学)	寺西 恒宣 Teranishi Tsunenobu	エネルギー機械 伝熱Ⅰ学
教授 Professor	博士(工学)	本江 哲行 Hongo Tetsuyuki	機械力学 振動工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	井澤 正彦 Izawa Masaki	システム設計 情報処理Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	坂△住 紀 Sakamoto Yoshinori	情報処理Ⅰ 製造と加工Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	白川 英親 Shirakawa Hidemi	熱力学Ⅰ 流体Ⅰ学Ⅰ、Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	豊嶋 剛司 Toshima Takeshi	応用物理Ⅰ 材料物性Ⅱ
准教授 Associate Professor	修士(工学)	増山 圭一 Masuyama Koichi	機械製図 基礎材料工学Ⅰ、Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	吉川 文恵 Yoshikawa Fumie	材料分析Ⅰ学 機械計測工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	田尻 智紀 Tajiri Tomonori	制御工学Ⅰ、Ⅱ 基礎Ⅰ学実談Ⅰ

電気制御システム工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	櫻井 立 Sakurai Yutaka	電気材料 制御工学
教授 Professor	博士(工学)	佐藤 圭祐 Sato Keisuke	コンピュータサイエンス 電気機械
教授 Professor	博士(工学)	柴田 博司 Shibata Hiroshi	基礎工学演習 材料力学
教授 Professor	博士(工学)	高田 英治 Takada Eiji	計測工学 システム工学
教授 Professor	博士(工学)	西 敏行 Nishi Toshiyuki	電気磁気学 システム工学実験Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	西田 均 Nishida Hitoshi	流体力学 制御Ⅰ学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	池田 慎治 Ikeda Shinji	電気回路 システム工学実験
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	池田 英俊 Ikeda Hidetoshi	工業力学 基礎工学実談
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	石田 文彦 Ishida Fumihiko	情報処理 システム工学実験Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	金子 慎一郎 Kaneko Shin-ichiro	ロボット工学 コンピュータサイエンス
准教授 Associate Professor	博士(理学)	藤崎 明広 Fujisaki Akihiro	応用数学 応用物理
准教授 Associate Professor	修士(工学)	古川 裕人 Furukawa Hiroto	電気回路 通信工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	百生 登 Momose Noboru	ものづくりⅠ学 メカトロ基礎工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	渡辺 秀典 Watanabe Hidenori	基礎工学実談

物質化学工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	河合 孝 恵 Kawai Takac	物理化学Ⅰ 情報処理Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	川 淵 浩 之 Kawafuchi Hiroyuki	有機化学Ⅱ 有機工業化学
教授 Professor	博士(薬学)	後 藤 道 理 Goto Michimasa	生物化学Ⅰ 薬理学
教授 Professor	工学博士	高 廣 政 彦 Takahiro Masahiko	応用物理Ⅰ 材料工学Ⅱ
教授 Professor	博士(工学)	袋 布 昌 幹 Tafu Masamoto	エコマテリアル 材料機能学
教授 Professor	博士(工学)	安 田 賢 生 Yasuda Kensei	無機化学Ⅱ 無機応用化学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	中 島 栄 次 Nakajima Eiji	基礎化学工学 化学工学Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	間 中 淳 Manaka Atsushi	分析化学実証 無機化学Ⅲ
准教授 Associate Professor	博士(農学)	峰 木 康 正 Minemoto Yasumasa	化学工学Ⅱ 反応工学
准教授 Associate Professor	修士(農学)	森 田 康 文 Morita Yasufumi	生物学 遺伝子工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	高 松 さおり Takamatsu Saori	分析化学実証 環境工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	森 康 貴 Mori Yasutaka	高分子化学 材料工学Ⅱ
助教 Assistant Professor	博士(理学)	山 岸 正 和 Yamagishi Masakazu	機器分析Ⅱ 有機化学実証
嘱託教授	薬学博士	米 谷 正 Kometani Tadashi	分析化学Ⅰ 生物工学

電子情報工学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(理学)	阿 蘇 司 Aso Tsukasa	情報ネットワーク ネットワークシステムⅠ学
教授 Professor	博士(工学)	椎 名 徹 Shina Toru	メディアⅠ学 プログラミング
教授 Professor	博士(工学)	篠 川 敏 行 Shinokawa Toshiyuki	計算機構成論 論理回路
教授 Professor	博士(学術)	新 開 純 了 Shinkai Junko	プログラミング アルゴリズムとデータ構造
教授 Professor	博士(工学)	塚 田 章 Tsukada Akira	電気回路 生体情報Ⅰ学
教授 Professor	博士(工学)	水 本 茂 Mizumoto Iwao	電子通信Ⅰ学 電波工学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	秋 口 俊 輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステム 情報処理学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	小 熊 博 Oguma Hiroshi	デジタル信号処理 創造工学設計
准教授 Associate Professor	修士(工学)	早 勢 欣 和 Hayase Yoshikazu	情報数学 ソフトウェアⅠ学
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	的 場 隆 一 Matoba Ryuichi	応用数学 技術英語
准教授 Associate Professor	修士(工学)	山 口 昇 史 Yamaguchi Akifumi	電子回路 電子システム
准教授 Associate Professor	博士(工学)	由 井 匹 海 Yoshii Yotsumi	量子エレクトロニクス コンピュータ計測
助教 Assistant Professor	博士(工学)	伊 藤 尚 Ito Nao	応用物理 工学演習
助手 Research Associate	修士(工学)	門 村 英 誠 Kadomura Hideki	プログラミング

国際ビジネス学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(商学)	清水 真 Shimizu Makoto	マーケティング論 流通システム論
教授 Professor	博士(学術)	成瀬 喜則 Naruse Yoshinori	経営科学 経営情報
教授 Professor	博士(教育学)	匹原 雅博 Nishihara Masahiro	ビジネス英語 時事英語講義
教授 Professor	修士(経営情報学)	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	財務会計論 管理会計論
准教授 Associate Professor	修士(学術)	河老原 毅 Cbihara Tsuyoshi	環日本海諸国語表現(中国語) ビジネス環日本海諸国語(中国語)
准教授 Associate Professor	修士(文学)	岡本 勝規 Okamoto Katsunori	環日本海社会地域経済論 環日本海社会経済史
准教授 Associate Professor	修士(政治学)	緒万 崇 Ogata Kaoru	環日本海諸国語表現(韓国語) ビジネス環日本海諸国語(韓国語)
准教授 Associate Professor	修士(経済学)	松原 義弘 Matsubara Yoshihiro	民法 ビジネスと法
准教授 Associate Professor	博士(言語文化学)	宮崎 衣澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現(ロシア語) ビジネス環日本海諸国語(ロシア語)
准教授 Associate Professor	博士(学術)	宮 宣 徹也 Miyashige Tetsuya	経済戦略論 経営管理論
准教授 Associate Professor	博士(工学)	村山 雅子 Murayama Masako	流通データ分析 国際物流論
助教 Assistant Professor	博士(マネジメント)	塩見 浩介 Shiomi Kosuke	金融論
嘱託教授	修士(経済学)	鉦 清 志 Tachi Kiyoshi	海運論

商船学科

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	遠藤 真 Endo Makoto	船舶工学 船体管理論 I
教授 Professor	博士(工学)	千葉 元 Chiba Hajime	海洋実習 海洋気象論
教授 Professor	博士(工学)	榑 伸司 Toga Shinji	応用力学 航海力学
教授 Professor	博士(工学)	中谷 俊彦 Nakatani Toshihiko	航海概論 航海計測論
教授 Professor	学術博士	八賀 正司 Hachiga Tadashi	電子回路 計測・自動制御工学
教授 Professor	博士(工学)	見上 博 Mikami Hiroshi	蒸気原動機工学
教授 Professor	博士(工学)	水谷 淳之介 Mizutani Junnosuke	設計製図 工業材料学
准教授 Associate Professor	商船学修士	河合 雅司 Kawai Masashi	航海学 応用数学
准教授 Associate Professor	修士(経済) 一級海技士(航海)	笹谷 敬二 Sasaya Keiji	船舶安全学 海運論
助教 Assistant Professor	博士(工学)	勝島 隆史 Katsushima Takafumi	海事法 I 国際物流論
助教 Assistant Professor	博士(工学)	経田 僚昭 Kyoden Tomoaki	工業熱力学 工作実習
助教 Assistant Professor	博士(工学)	五味 伸之 Gomi Nobuyuki	実験実習 II 工作実習
助教 Assistant Professor	平学上 一級海技士(機関)	篠島 司郎 Sasajima Shiro	機関英語 I 商船実務
助教 Assistant Professor	修士(海事科学)	西井 典子 Nishii Noriko	河上交通論 情報処理
助教 Assistant Professor	博士(理学)	真岩 一幸 Maiwa Kazuyuki	流体工学 補助機械 I 学
助教 Assistant Professor	修士(工学)	山田 圭祐 Yamada Keisuke	船用機関概論 内燃機機関工学

実習船若潮丸

練習船 船長	准学士 一級海技士(航海)	田所 茂樹 Tajika Shigeki	練習船実験、乗船実習
練習船 機関長	准学士 一級海技士(機関)	佐々木 正 Sasaki Tadashi	練習船実験、乗船実習
一等航海士	修士(学術) 一級海技士(航海)	橋本 心太郎 Hashimoto Shintaro	校内練習船実習、実験実習 海上交通論
一等機関士	准学士 一級海技士(機関)	山谷 尚弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習 補助機関工学

■一般教養科

[本郷キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	修士 (TESOL)	青山 晶子 Aoyama Akiko	英語表現 英語コミュニケーション
教授 Professor	文学 修士	瀬戸 薫 Seto Kaoru	歴史, 歴史学
教授 Professor	学 士	高熊 哲也 Takakuma Tetsuya	総合国語, 日本文学
教授 Professor	博士 (理学)	沼森 展子 Tsumori Nobuko	化学 I, 化学 II
教授 Professor	学 士	冨田 尚 Tomita Takashi	総合英語, 英語表現
教授 Professor	理学 修士	長谷川 貴之 Hasegawa Takayuki	数学特講 I, 数学特講 II
教授 Professor	修士 (体育学)	比 比 岸 洋 Hibi Naohiro	体育 II, 体育 V
教授 Professor	博士 (理学)	山腰 等 Yamakoshi Hitoshi	物理学 I, 物理学 II
准教授 Associate Professor	博士 (学術)	足立 麗子 Adachi Mayuko	総合国語, 国語表現
准教授 Associate Professor	修士 (工学)	河原 治 Kawahara Osamu	微分積分学, 応用数学
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	高 越 義 一 Takagoshi Yoshikazu	総合英語, 英語演習
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	中 村 登 Nakamura Noboru	基礎数学 B, 解析学
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	橋 本 伊 都 子 Hashimoto Itsuko	基礎数学 A, 応用数学
准教授 Associate Professor	文学 修士	宮 崎 真 矢 Miyazaki Shinya	倫理, 哲学
助教 Assistant Professor	博士 (人間・環境学)	小 川 典 子 Ogawa Noriko	総合英語, 英語演習
助教 Assistant Professor	修士 (体育学)	仁 木 康 浩 Niki Yasuhiro	体育, 保健
嘱託教授	文学 修士	立 野 彰 Tateno Akira	英語表現 I
嘱託教授	理学 修士	藤 堂 景 吾 Toudo Saion	線形代数学, 解析学

[射水キャンパス]

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	文学 修士	岡 部 寛 子 Okabe Hiroko	総合国語, 国語表現
教授 Professor	文学 修士	金 川 欣 二 Kanagawa Kinji	総合英語, 言語学
教授 Professor	体育学 修士	金 子 龍 一 Kaneko Ryuichi	体育 I, 体育 II
教授 Professor	理学 修士	河 合 均 Kawai Hitoshi	解析学, 微分積分学
教授 Professor	修士 (教育学)	清 水 義 彦 Shimizu Yoshihiko	英語演習, 英会話演習
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	大 竹 由 記 子 Ohtake Yukiko	物理学 I, 物理学 II
准教授 Associate Professor	修士 (体育学)	大 橋 千 旦 Ohashi Chisato	体育 I, 体育 II
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	クーパー トッド Cooper Todd	総合英語, 英語表現
准教授 Associate Professor	修士 (文学)	近 藤 周 吾 Kondo Shugo	総合国語 I A, 日本文学講読
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	櫻 井 秀 人 Sakurai Hideto	解析学, 基礎数学 A
准教授 Associate Professor	修士 (教育学)	ミアナヌ チャールトン ビル Moananu Charlton Bill	英会話, 総合英語
准教授 Associate Professor	博士 (理学)	寺 崎 由 紀 子 Terasaki Yukiko	化学, 理科
准教授 Associate Professor	博士 (工学)	星 野 朱 美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語 II (中国語) 環日本海諸国語 III (中国語)
准教授 Associate Professor	修士 (学術)	山 本 有 希 Yamakoto Yuki	環日本海諸国語 I (ロシア語) 環日本海諸国語 II (ロシア語)
准教授 Associate Professor	修士 (経済学) 修士 (教育学)	横 田 数 弘 Yokota Kazuhiro	歴史 II, 政治・経済
助教 Assistant Professor	修士 (英語教育) MA (FIT)	山 本 啓 人 Yamamura Hiroto	総合英語, 英語表現

専攻科・センター

専攻科専任

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	博士(工学)	保 莉 友 高 Homae Tomotaka	力学Ⅰ 材料力学Ⅰ
教授 Professor	博士(工学)	山 本 柱 一 郎 Yamamoto Keiichiro	電気機器 パワーエレクトロニクス
准教授 Associate Professor	博士(工学)	石 口 弘 憲 Ishida Hiroki	センサ工学 電子デバイス
准教授 Associate Professor	博士(工学)	尾 山 由 紀 子 Oyama Yukiko	分析化学Ⅱ 無機工業化学
准教授 Associate Professor	博士(工学)	喜 多 正 雄 Kita Masao	基礎材料Ⅰ学Ⅰ 材料物性Ⅰ
准教授 Associate Professor	博士(工学)	多 田 和 広 Tada Kazuhiro	電子回路Ⅰ システム工学実験Ⅱ
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	古 山 彰 一 Furuyama Shoichi	長期出張中
助教 Assistant Professor	博士(工学)	北 村 拓 也 Kitamura Takuya	応用数学Ⅲ 制御Ⅰ学Ⅱ
助教 Assistant Professor	博士(経営学)	畠 山 俊 宏 Hatakeyama Toshihiro	経済学概論 国際ビジネス論
助教 Assistant Professor	博士(マテリアルサイエンス)	福 田 知 博 Fukuda Tomohiro	有機化学Ⅲ 機器分析Ⅰ

教育技術センター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
教授 Professor	学 士	浦 風 和 裕 Urakaze Kazuhiro	設計製図Ⅱ メカトロ創造設計
助教 Assistant Professor	博士(工学)	石 黒 農 Ishiguro Minoru	ものづくり基礎工学実験 シミュレーション工学
助教 Assistant Professor	博士(工学)	山 本 久 嗣 Yamamoto Hisashi	ものづくり基礎Ⅰ学実験 工作実習Ⅰ

地域イノベーションセンター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
准教授 Associate Professor	博士(工学)	太 田 孝 雄 Ota Takao	工業力学Ⅰ 有機材料

国際教育センター

職名 Status	学位	氏名 Name	担当科目
准教授 Associate Professor	博士(情報科学)	萩 原 信 吾 Hagiwara Shingo	経営情報 データベース論

6 地域人材開発本部

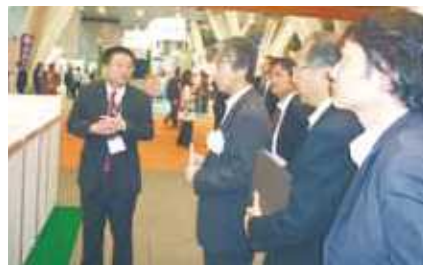
地域に根ざした産学官の連携のもと、創造性・国際性豊かで実践力のある人材の育成を支援するとともに、教育・研究を巡じた地域社会への貢献を目指すために、全国高専に先駆けて本校に地域人材開発本部が設置されています。地域人材開発本部は、校長を本部長として、地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターから成り、これらの3センターが場合によっては連携しあうなどして、学科・専攻科の枠組みを超えた取り組みを進めています。また、長岡技術科学大学および豊橋技術科学大学と連携した教育研究を支援する技術科学大学連携室も設置されています。

■地域イノベーションセンター

わが国は現在、新しい時代に対応し創造性に富んだものづくりと、それを支える優れた技術力が求められています。そのために富山高専は、産業界のニーズに対応した人材を育成し、競争力のある新技術を提供していかなければなりません。

地域イノベーションセンターでは、地域産業界の技術的要望に応えるため、地域ニーズの発掘とそれを解決するための研究開発プロジェクトの形成、技術相談、共同研究・受託研究等の推進、外部資金獲得支援ならびに、本校教員の研究・技術開発力を高めるための支援を主な業務としています。また、同センター内に知的財産センターを設置し、本校における知的財産の創造・保護・活用の促進を図っています。特に知的財産の活用促進を目的として、東海北陸地区の各高専と連携した広域拠点としての活動を行っています。

また、これらの取り組みは学内での活発な研究活動を促進し、研究活動におけるプロセスと成果は常に教育環境に還元され学生の創意工夫の意識づけに寄与します。結果的に本センターの取り組みは、地域産業界のニーズに適応できる実践的かつ創造的技術者育成にもつながります。



六司研究に向けてのシーズ発表

■教育技術センター

環境や経済の課題に直面し、国際化や情報化の中で社会のシステムが大きく変化しています。このことから、課題を解決し、グローバルな観点で地域社会をリードする人材育成が求められています。そのために富山高専は、次代の地域社会のリーダーとして持続的社會を担う技術者、あるいはビジネスパーソンを育成することを目的としています。そのために、本校では、地域の自治体や企業、教育機関、NPO等の組織と連携し、互いに責任を持った教育（協働教育）を実施しています。また、学生が主体的に学ぶための環境整備を実施しています。

教育技術センターは、地域と協働した学生や地域人材の教育、教職員の能力向上のために、教育プログラムを企画・開発し実施します。具体的には、CO・OP教育、キャリア教育、知財教育、ESD（持続可能な開発のための教育）の実施、地域の人材育成のための研修会、公開講座、出前授業、サイエンス実験などを実施しています。



キャリア教育の一環としての企業研究会

■国際教育センター

日本企業は、内需の減少や国際情勢の急激な変化に対応するため、急速にグローバル化を推し進めております。高専が立地する地域企業においても、海外とのビジネスの開拓や海外事業所の設置・運営が必須となっております。

こうした社会の変化を受けて、高専では、従来取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、海外の異なる文化を持つ人々を理解し、コミュニケーションをとり、協調しながら持続可能な社会発展に寄与できる人材を育成することにも取り組んでいます。

国際教育センターでは、これらの高専の取組を支援するため、国際学術交流協定大学や地域企業等と連携して、語学教育の充実や、海外留学生の受入や日本人学生の海外研修・留学等を企画するとともに、国際共同研究の支援等を行っています。国際教育センターは、これらの活動を通じて、地域に根ざして国際的な視野を持つ専門家の輩出に貢献していきます。



三二国際会議の開催

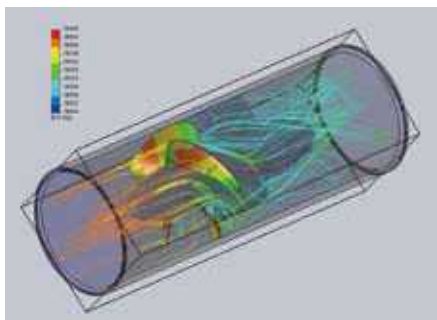
7 製品開発本部

環境・エネルギー問題に対応するための技術革新、道路交通システムの自動化やビッグデータを利用した様々なサービスシステムの創出が期待されるICTの高度化、医療・福祉分野へのさらなる応用が期待されるロボット技術の高度化等、我々を取り巻く社会においては、高度な技術に基づく製品開発の要求が大きく増加しています。

このような中で、本校では、地域・社会の人材を活用し、製品開発に関する地域産業のニーズに対応した実践的な企画・提案・製作を主体的に行うため、平成26年4月1日に新たに製品開発本部を設置しました。

製品開発本部は、地域産業における技術的課題の解決、製品開発の促進を図り、技術力の継承・発展及びそれを担う学生をはじめとする人材の育成に貢献し、地域の活性化に寄与するとともに、モデル事業として全国に発信することを目的としています。当本部は、今後、地域人材開発本部と連携し、製品開発に係る試作品の製作や機器の改良、課題の解決型学習教育等について取り組んでいくこととなります。

具体的には、本校が所有する高度な測定機器、加工機や種々の解析ソフトウェアを有効利用し、機械・電気・電子、制御・情報系の分野における、試作品の設計、製作、測定・評価、改良、技術相談に対応してまいります。さらに、マーケティング調査やビジネスコンサルティングへの対応、製品開発能力を高めるような教育プログラムの開発、技術者育成講座の企画なども予定しています。



製品開発事例：小水力発電現地調査用携帯型発電機

8 主要施設

図書館情報センター

図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、学習・教育・研究等のため、本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約76,000冊と雑誌約1,300種を備えており、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約78,000冊と雑誌約1,000種を備えています。電子ジャーナルについても両キャンパスで9,000タイトル以上提供しています。館内には、英語多読本コーナー、就職・進学支援のための資格試験問題集コーナー等が設置してあるほか、DVD等の電子メディアも利用できます。

また、一般開放を行っており、調査研究を目的とする学外の方にも利用いただけます。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学業期間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
	休業期間	休業期間
休業期間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、300台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っていきます。

情報センターは放課後も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館・
情報センター外観

射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館外観

臨海実習場、練習船若潮丸

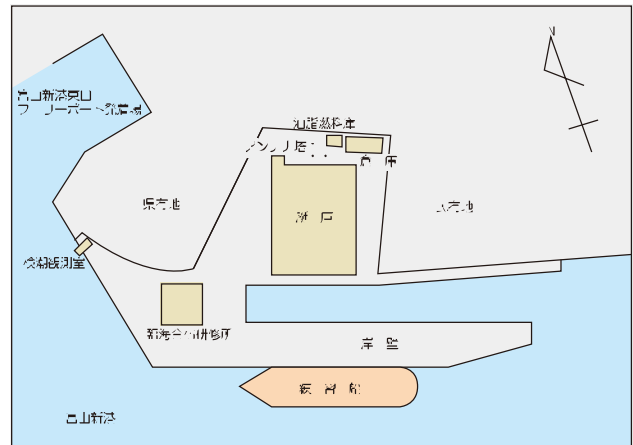
射水キャンパス

臨海実習場（H27年4月移転予定）

昭和44年に完成した臨海実習場は、射水キャンパスから4キロメートル離れた富山新港の入口に面しており、約100メートルの岸壁を備えています。

主に商船学科の教育実習に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット、漕艇部等の課外活動にも活用されています。また、夏季には地域の青少年及び市民に開放する公開講座などの行事にも利用されています。

艇庫には実験、研究用の観測機器や、海洋系教育に必要な多数の模型のほか、カッター、ヨット、ポート、ジェットスキー、救命艇等を保有しています。



臨海実習場と若潮丸



若潮丸

練習船「若潮丸」

資 格	近海区域 第4種船
主要寸法	全長53.59m 幅10.00m 深さ5.40m
総 吨 数	231吨 (tons)
常用速力	12.50ノット (Knots)
航 続 距 離	2,700海里 (n.m)
主 機 関	低速ディーゼルエンジン 1,300PS×390RPM-1基 主機プロペラ：4翼スキュー付cpp バウスラスター 1台 スターンスラスター 1台 } 4翼cpp
最大搭載人員	乗組員9名、教員3名 学生44名、計56名
竣工年月日	平成7年9月14日

実習艇及びその他の舟艇

□「さざなみ」

主要寸法	全長16m 幅4.10m 深さ1.22m
総 吨 数	15吨 (tons)
常用速力	20.5ノット (Knots)
最大搭載人員	乗員2名、教員3名、学生20名 計25名
竣工年月日	平成3年3月3日

□「わかしお3号」

主要寸法	全長7.90m 幅2.64m 深さ1.27m
速 力	23.0ノット (Knots)
最大搭載人員	乗員2名、その他10名、計12名
竣工年月日	平成10年3月26日

□その他

・「ペがさす」	1
・「ジュピター」	1
・伝馬船	2
・端艇	4
・その他（ヨット、ジェットスキー等）	

9 学生生活

■学校行事

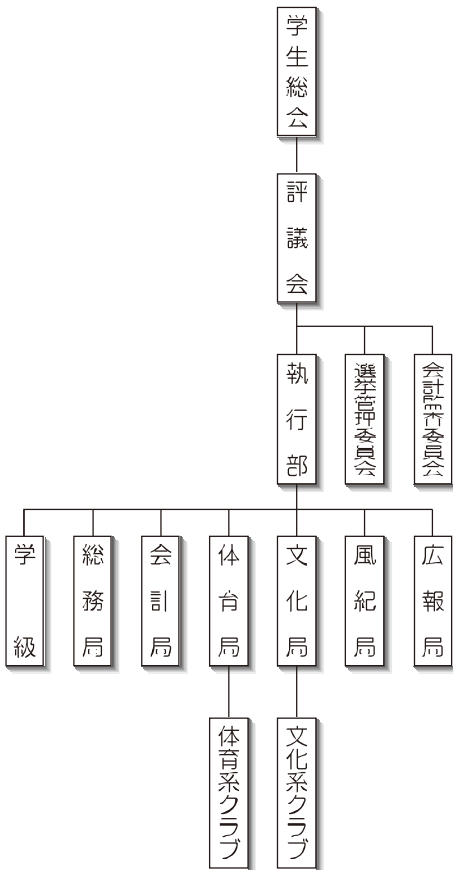
- 4**
 - 入学式
 - クラブ紹介
 - 新入生オリエンテーション
- 5**
 - 新入生合宿研修
 - 高専祭（北斗祭）
 - 球技大会（本郷）
- 6**
 - 高校総体
 - 前期中間試験
- 7**
 - 北陸地区高専体育大会
 - カッターレース大会
 - 前期末試験

- 8**
 - 商船学科卒業研究発表会
 - 夏季休業（～9月）
 - 全国高専体育大会
- 9**
 - 商船学科卒業式
- 10**
 - 県外工場等見学
 - ロボットコンテスト
 - 合同球技大会
 - 就職ガイダンス
- 11**
 - 企業研究会
 - 後期中間試験

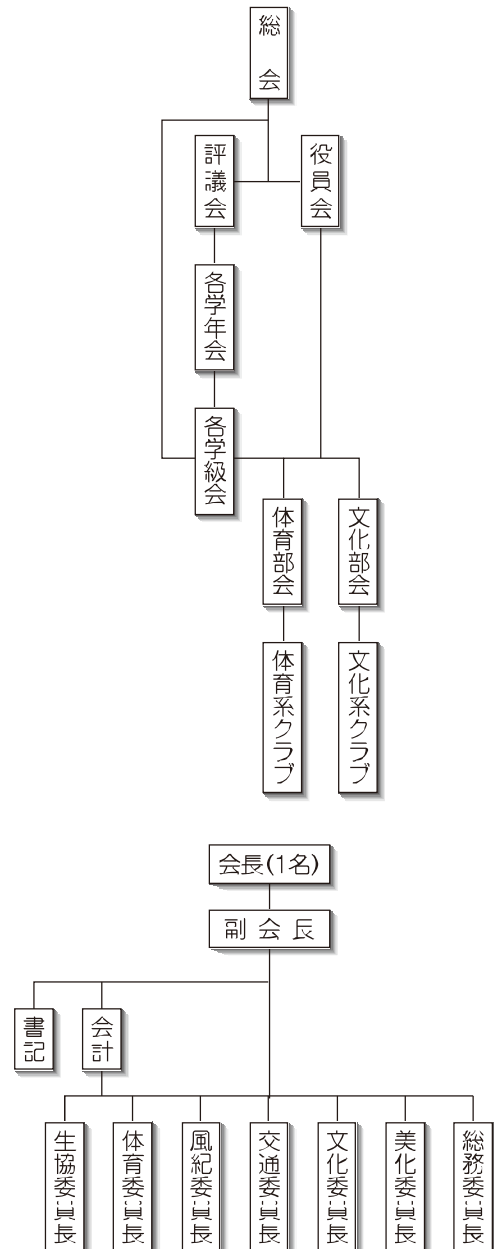
- 12**
 - 就職ガイダンス
 - 冬季休業（～1月）
- 1**
 - 就職ガイダンス
 - 推薦入試
- 2**
 - 学力入試
 - 学年末試験
 - 卒業研究発表会
（商船学科を除く）
- 3**
 - 卒業式（商船学科を除く）

■学生会組織図

本郷キャンパス



射水キャンパス



■クラブ活動

本郷キャンパス

体育系クラブ

陸上競技
サッカー
野球
柔道
弓道
剣道
バレーボール
バスケットボール
ラグビー・フットボール
バドミントン
テニス
ハンドボール
水泳
卓球
ソフトテニス

文化系クラブ

ブラスバンド
メカテック
茶道
ピアノ
美術
軽音楽
写真
囲碁・将棋
鉄道

同好会

理工学



弓道



囲碁・将棋

射水キャンパス

体育系クラブ

ヨット
漕艇
陸上競技
ラグビー
男子バスケットボール
女子バスケットボール
男子バレーボール
テニス
柔道
野球
サッカー
女子バレーボール
バドミントン

文化系クラブ

新聞
デジタルメディア創作
吹奏楽
メカトロ技術研究
演劇

同好会

剣道
水泳
卓球
フリースタイルダンス
茶道
軽音楽
国際交流ゼミ
ボランティア
美術
弦楽
日本舞踊
文芸
アントレプレナー研究
海王丸
書道
機関学
写真
航海学



メカトロ技術研究



漕艇

福利厚生施設

本郷キャンパス

学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

合宿研修所

本研修所は、課外教育活動のための宿泊施設です。合宿研修に必要な集会室、浴室、自炊用具などがあります。学生と教員が寝食を共にして、健全な学生生活を送り、豊かな人間性を育むことを目的として使用されています。



学生ラウンジ



図書館前ロビー



合宿研修所

射水キャンパス

奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一角に談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本館隣接地には、創立6年目を迎える生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

■ 学生寮

学生の就学の便を図るため、学生寮を設置しています。本郷キャンパスでは「**仰岳寮**」、射水キャンパスでは、「**和海寮**」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学生寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風を養うことを目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。そのため学生寮には、家庭にはない友人との語らい、先輩との付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

仰岳寮（本郷キャンパス）

平成26年5月1日現在

学 科		学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
機 械 シ ス テ ム 工 学 科			10	9	11 (1)	8	2	40 (1)
電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科			15	9 (1)	13 (1)	7	7 (1)	51 (3)
物 質 化 学 工 学 科			12 (9)	8 (3)	14 (6)	8 (3)	7 (3)	49 (24)
工 学 専 攻	機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 二 学 コ ー ス		1					1
	機 能 材 料 工 学 コ ー ス							0
合 計			38 (9)	26 (4)	38 (8)	23 (3)	16 (4)	141 (28)

() 内は女子学生内数

和海寮（射水キャンパス）

平成26年5月1日現在

学 科		学 年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	合 計
電 了 情 報 工 学 科			8 (1)	12 (6)	11 (3)	6 (2)	8 (3)	45 (15)
国 際 ビ ジ ネ ス 学 科			16 (11)	11 (8)	11 (7)	4 (3)	8 (6)	50 (35)
商 船 学 科			18 (3)	19 (2)	14 (3)	14 (4)	17 (3)	82 (15)
海 事 シ ス テ ム 工 学 専 攻			1 (1)	1 (0)				2 (1)
制 御 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻			3 (2)					3 (2)
国 際 ビ ジ ネ ス 学 専 攻								0
合 計			46 (18)	43 (16)	36 (13)	24 (9)	33 (12)	182 (68)

() 内は女子学生内数

■ 学生相談室

学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士）が配置されています。学校生活における様々な相談、学業・進路に関する相談、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題などにもスタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の場所と開室時間は以下の通りです。

本郷キャンパス

学 生 相 談 室 (学務課の西となり)	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	火, 水	カウンセラー	13:00 - 17:00
学 生 寮	第二火曜日	カウンセラー	17:00 - 21:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00

射水キャンパス

学 生 相 談 室 (保健室のとなり)	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	月, 水	カウンセラー	月 14:30 - 17:30 水 13:30 - 17:30
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00



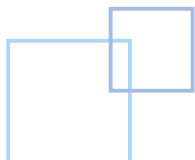
学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）



学生相談室主催 スーパーボールすくいの様子



■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員184社、個人会員17名です。
(平成26年5月30日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社 代表取締役社長
(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)

第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長
(任期：平成19年11月1日～平成21年12月13日)

第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長
(任期：平成21年12月14日～平成23年10月27日)

第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長
(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)

第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長
(任期：平成25年11月1日～現在)

技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

●人材育成協働事業

平成19年度に実施した、「高専等を活用した中小企業人材育成事業（経済産業省委託事業）」の自立化した事業として「元気なフレッシュエンジニア育成プログラム」を毎年実施しています。平成25年度は、企業人材育成事業－課題解決力育成講座－として3回開催し、のべ76名の参加がありました。

●講演会

- ・独立行政法人国立高等専門学校機構の岩熊まき理事による「科学技術立国における女性の活用と期待」との演題で講演会（22.10.26）を開催
- ・北陸電力の常務取締役営業本部副本部長近谷雅人氏による「電気事業の現状と課題～東日本大震災を踏まえて～」との演題で講演会（23.10.28）を開催
- ・ダイキン工業株東京支社シニアスペシャリスト中沂慶和氏による「グローバル化時代における生産技術と人材育成」との演題で講演会（24.10.26）を開催
- ・富山高等専門学校長石原外美による「日本の未来を拓く人材育成について－大学・高専における最近の動向－」との演題で講演会（25.10.31）を開催

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- 学生インターンシップ事業の支援
- 会員企業と富山高専の教職員及び学生との交流の場の提供
- 客員教授やシニアフェローによる富山高専学生の教育・研究の支援
- キャリア教育支援
- 会員企業を学生に紹介する企業研究会
- 共同研究に関する助成



企業研究会



講演会

公開講座（平成25年度実施）

年度	事業名	期間	受講対象者	募集人数
25年度	金の化学	5/1(水)	小・中学生	10
	技のしくみと力学	8/20(火)～22(木)	小・中学生	40
	化学であそぼう	8/9(金)	小・中学生	18組
	ミニ化学者になろう！	8/3(土)	小・中学生	18組
	第3回循環型社会講座 ～地域に根ざした建設廃棄物リサイクルの戦略～	9/12(木)～13(金)	技術者・専門家 (全匠の建設廃棄物リサイクル従事者)	20
	巨大ロボットの作り方 ～巨大ロボットは大地に立つか？～	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	「体験！！ 3次元CAD」 ～コンピュータでものづくり～	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	身近な電波をわしづかみ！ ～手作りラジオで放送を聞いてみよう～	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	「ロボカーの冒険」 ～ロボットカーでラインを追跡～	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	雷センサーをつくろう	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	色素や匂いを活性炭で吸着してみよう！	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	紫キャベツで化学実験 ～虹の色を作ろう～	8/10(土)～11(日)	小・中学生	80
	コンピュータを組み立てよう	8/6(火)	中学生	12
	自分の声を目で見よう	8/7(水)～9(金)	中学生	各回20
	ロボットの頭脳とは ～LEGOを使ったプログラミング実験～	8/7(水)～9(金)	中学生	各回20
	はじめての電子工作	8/7(水)～9(金)	中学生	各回10
	ネットワークで遠隔操作しよう	8/7(水)～9(金)	中学生	各回10
	異文化について学ぼう	8/7(水)～9(金)	中学生	各回20
	若潮丸体験航海と洋上授業	8/7(水)～8/9(金)	中学生、保護者	各回30
	English at Kosen（高寺で英話）	8/7(水)	中学生	30
	やさしい英語 絵木で身につけた英語で海外留学は十分にける！	8/8(木)	中学生	25
	国語の教科書を読みなおす ～「走れメロス」は盗作か？～	8/9(金)	中学生	10

11 研究活動

■ 科研費等採択状況

□ 文部科学省科学研究費補助金

種 目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
新学術領域研究	件 数	1	1	0	0	0
	金 額	9,360	9,360	0	0	0
基盤研究(A)	件 数				1	1
	金 額				16,640	11,700
基盤研究(B)	件 数	1	0	1	1	1
	金 額	4,810	0	8,840	5,590	5,200
基盤研究(C)	件 数	9	13	13	16	13
	金 額	10,790	24,830	16,770	25,090	20,540
萌芽研究	件 数	0	0	1	2	1
	金 額	0	0	1,950	3,510	1,040
若手研究(B)	件 数	2	3	3	5	7
	金 額	1,690	3,380	7,540	9,490	10,530
奨励研究	件 数	3	3	2	2	1
	金 額	1,490	1,440	1,200	1,200	600
合 計	件 数	16	20	20	27	24
	金 額	28,140	39,010	36,300	61,520	49,610

金額単位：千円 間接経費含む

■ 共同研究実施状況

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
件 数	31	43	42	44	43
金 額	10,459	14,207	11,727	12,772	11,670

金額単位：千円

■ 受託研究実施状況

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
件 数	11	7	14	20	11
金 額	16,279	25,369	18,530	27,817	47,551

金額単位：千円 間接経費含む

■ 寄附金受入状況

年 度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
件 数	37	35	27	21	20
金 額	25,723	25,862	17,119	20,257	14,859

金額単位：千円

国際学術協定校

韓国・慶熙（キョンヒ）大学との交流

平成24年2月16日、慶熙大学全学（韓国ソウル市および水原市）との学術交流協定を締結しました。

慶熙大学との学術交流は、平成18年2月に慶熙大学環境応用化学部(韓国水原市)との学術交流協定締結に始まり、慶熙大学全学部と学術交流協定を締結することにより、工学・ビジネス・商船の分野を網羅する本校全ての学科の学生交流と研究交流が可能となりました。

今年度は長期の客員研究員が本校に滞在します。

中国・東北大学との交流

東北大学(中国遼寧省瀋陽市)との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成15年12月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成22年10月に再調印しました。

東北大学は、昨年(2013年)の9月に創立90年を迎えた歴史ある大学で、中国でトップクラスの實力を有し、国家重点大学（中国政府が重点的に学術拠点として認定した大学）の一つです。

これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流や、本校教員の長期海外研究員派遣といった研究交流が行われてきました。今年度9月には「環境技術に基づく持続可能社会のための国際セミナー」が企画されているなど、今後も研究者や学生の交流を促進するために検討が進められています。



慶熙大学学生と本校生の交流の様子



石原校長(左)・姜東北大学副学長(右)(平成25年国際交流打ち合わせ)

米国・ハワイ大学

カウアイコミュニティカレッジとの交流

平成21年10月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ（KCC）と協約書が交わされ、また平成22年11月には、商船学科を設置している4つの高等専門学校を加えて全国5高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

現在、本校学生がKCCにおいて国際インターンシップや英語圏異文化実習を受講する一方で、KCCの学生も本校へ短期留学するなど、盛んな交流を行っています。

英国・北アイルランド

サウスイースタン地区連合カレッジとの交流

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合カレッジ（SERC）とは、平成22年3月に交流協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校との交流

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キングモンクット工科大学ラカバン校（KMITL）とは、平成25年8月に交流協定書に調印し、短期留学生を相互に受け入れています。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施しています。



KCCでのカヌー実習



SERCでのロボット制御実習

海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成18年より開始されました。

海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

□ 1年留学プログラム

平成18年にカナダ西海岸のナナイモ市にあるバンクーバーアイランド大学附属高校（旧マラスピナ高校）との間に留学に関する協定を結び、平成20年4月より1年間の留学プログラムを実施しています。

□ 半年留学プログラム

平成17年に留学に関する協定を結び、平成18年4月より、国際流通学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約5ヶ月の異文化体験と英語研修を行っています。



バンクーバーアイランド大学附属高校留学中の学生



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

□ 米国・ハワイ州国際インターンシップ

研修先 ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ
(平成21年交流協定締結)
対象 専攻科生（海事システム工学専攻）
期間 2～3週間
内容 ポリネシア伝統航海術等の海事技術研修・語学訓練

□ 英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウスイースタン地域連合カレッジ（平成22年交流協定締結）
対象 専攻科生（国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻）
期間 4週間
内容 国際ビジネス専攻：企業実習・カレッジでの専門講習（各2週間）
工学系専攻：語学研修・実務訓練（各2週間）

□ 東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人
対象 専攻科生・本科4年生
期間 2～3週間
内容 実務研修

□ 異文化実習

研修先 カナダ、韓国、台湾、ロシア、米国（ハワイ）の各教育機関
対象 本科3～5年生
期間 3～4週間
内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習

短期留学受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成24年4月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成25年8月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

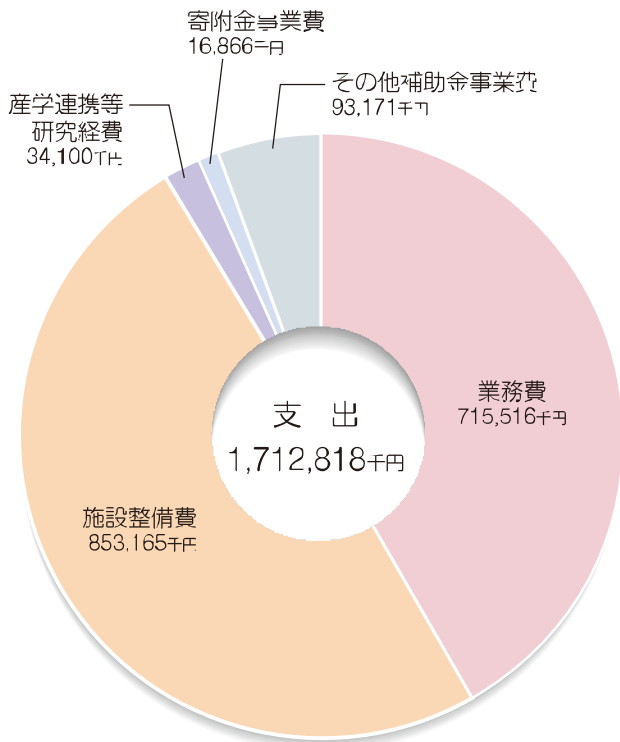
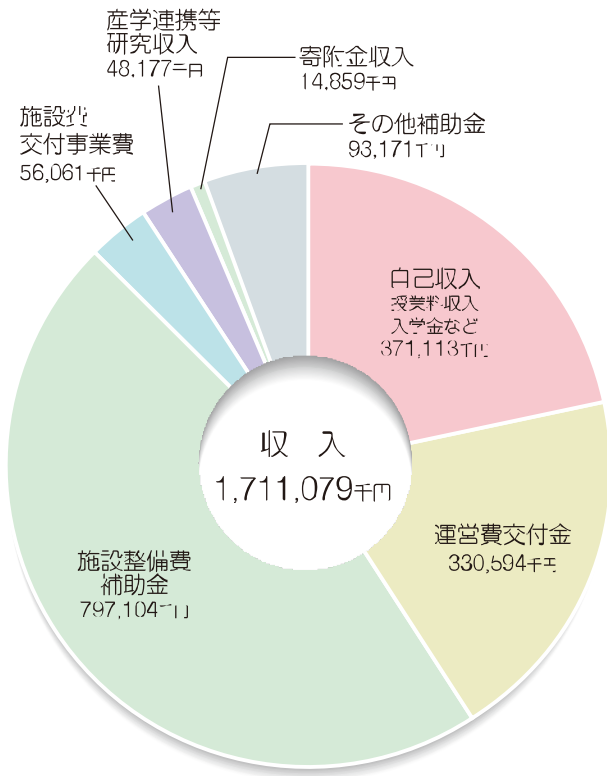
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニック及びナンヤンポリテクニックからも、短期留学生を受け入れています。



高専祭に参加している留学生

13 財務状況

平成25年度予算



施設

〔本郷キャンパス〕

区分		団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
土地	校舎敷地		55,472			55,472
	屋外運動場敷地		36,561			36,561
	寄宿舎敷地		12,535			12,535
	職員宿舎敷地		2,863	596	365	3,824
	合計		107,431	596	365	108,392

(単位：㎡)

区分		団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
建物	校舎		13,973			13,973
	体育館		3,674			3,674
	寄宿舎		4,493			4,493
	図書館		1,633			1,633
	福利施設		1,227			1,227
	管理部		1,483			1,483
	その他		1,023			1,023
	設備室		245			245
	職員宿舎(戸数)		789(12)	135(2)	105(1)	1,029(15)
	合計		28,540	135	105	28,780

(単位：㎡)

〔射水キャンパス〕

区分		団地名	海老江鎌倉団地	堀田明神新団地	計
土地	校舎敷地		45,336		45,336
	屋外運動場敷地		41,703		41,703
	寄宿舎敷地		15,808		15,808
	実験実習地			4,201	4,201
	職員宿舎敷地		6,962		6,962
合計		109,809	4,201	114,010	

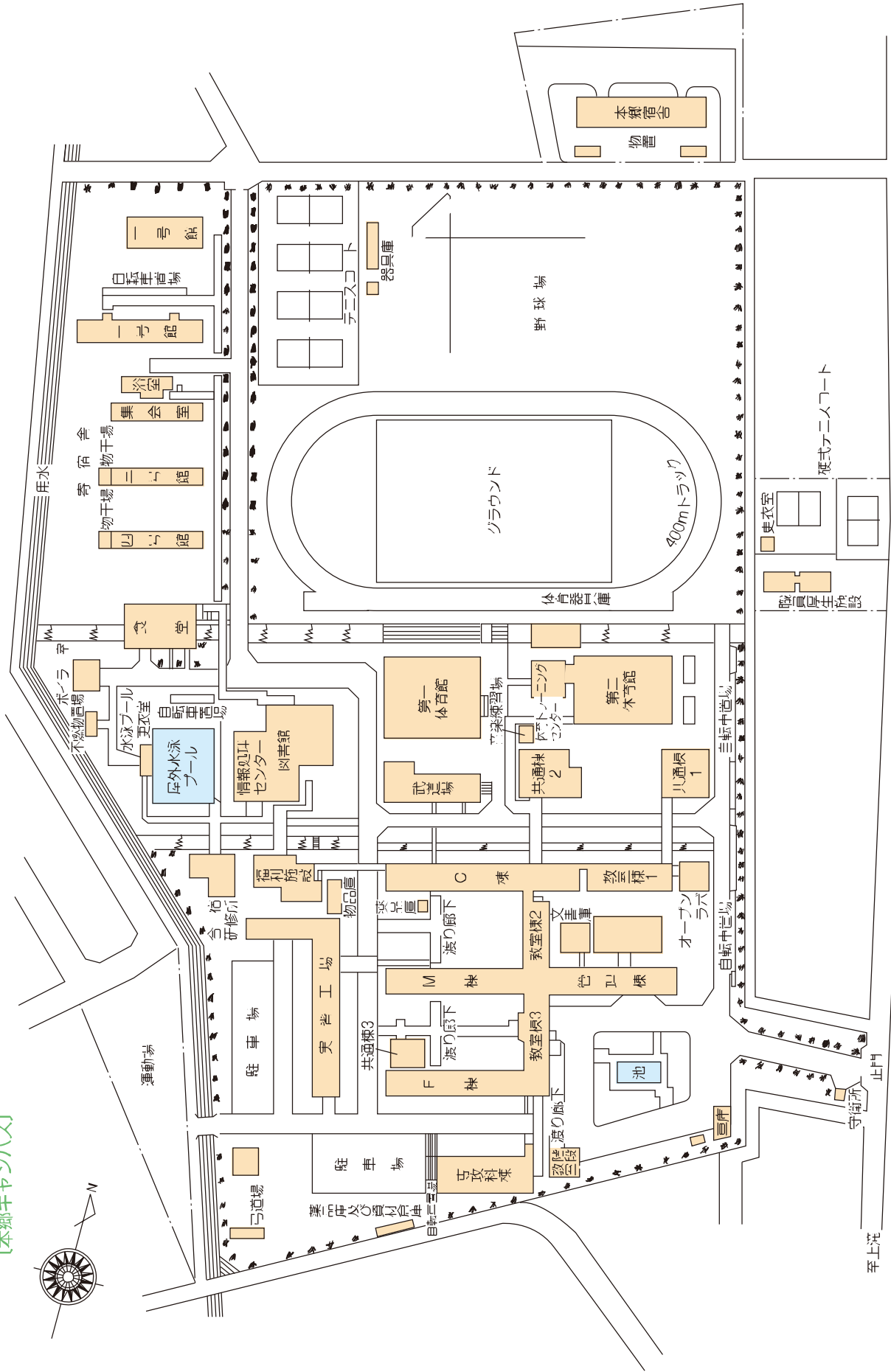
(単位：㎡)

区分		団地名	海老江鎌倉団地	堀田明神新団地	計
建物	校舎		14,099	1,421	15,520
	体育館		3,031		3,031
	寄宿舎		7,035		7,035
	図書館		1,626		1,626
	福利施設		1,347		1,347
	管理部		1,629		1,629
	その他		996		996
	設備室		399		399
	職員宿舎(戸数)		1,127(18)		1,127(18)
	合計		31,289	1,421	32,710

(単位：㎡)

キャンパスマップ

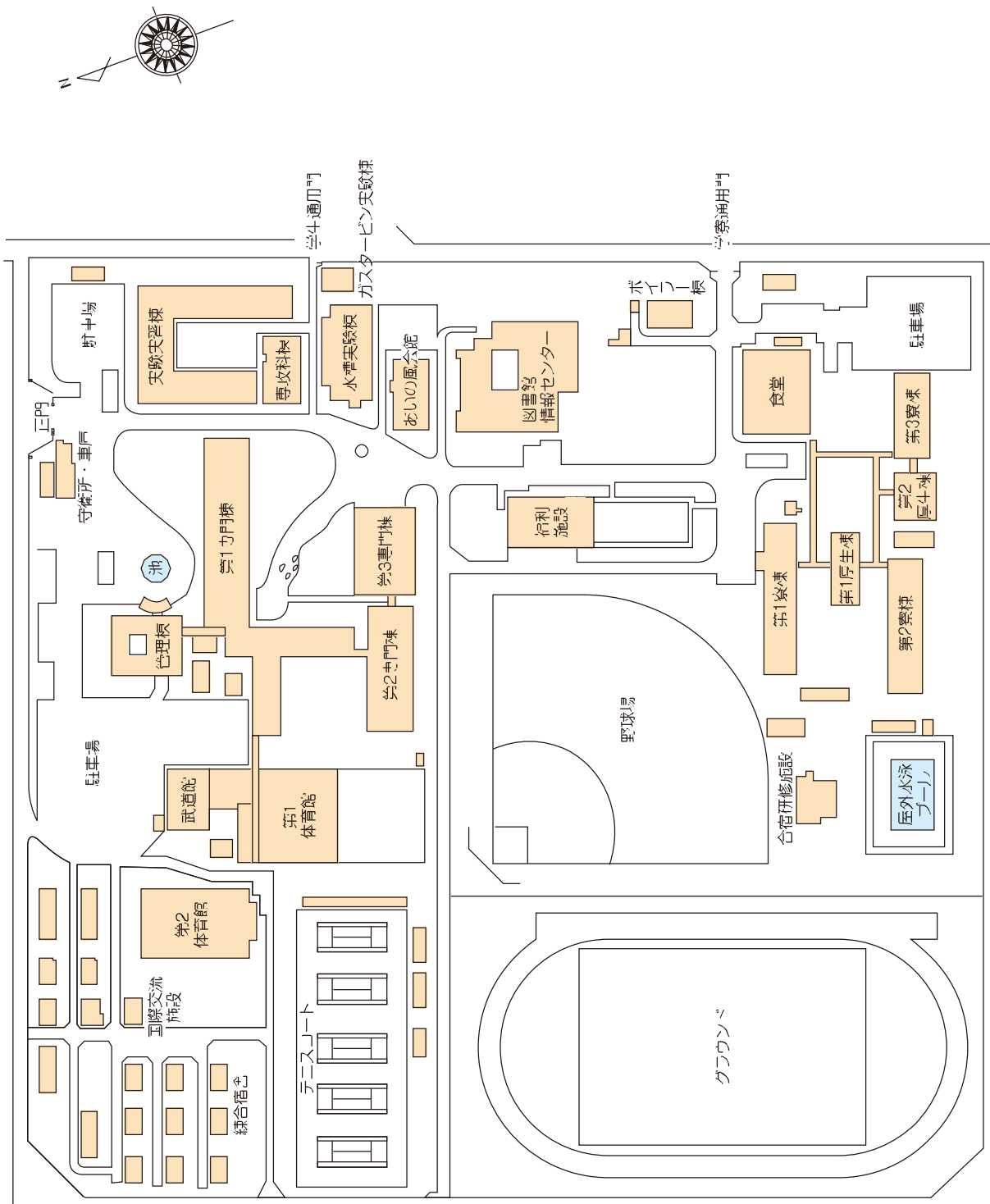
[本郷キャンパス]



至富士市街

卒上河

【射水キャンパス】



臨海実習場のマップはP34にあります。

14 在学状況

■学生の定員と現員

[本郷キャンパス]

平成26年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
機械システム工学科40名		47(2)	33(1)	46(3)	39(1)	34(10)			199(20)
電気制御システム工学科40名		47(4)	38(4)	45(3)	35(1)	36(3)			201(15)
物質化学工学科40名		42(26)	40(22)	48(21)	43(21)	34(12)			207(102)
機械工学科40名						1			1
電気工学科40名						1			1
物質工学科40名						2(1)			2(1)
エレクトロニクス専攻 工学専攻24名	機械・電気システム工学コース						17(1)	14	31(1)
	機能材料工学コース						13(6)	9(3)	22(9)
合計		136(32)	111(27)	139(27)	117(26)	108(26)	30(7)	23(3)	664(148)

[射水キャンパス]

平成26年5月1日現在

定員	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
電子情報工学科40名		45(11)	42(9)	42(12)	42(11)	42(12)				213(55)
国際ビジネス学科40名		42(36)	37(32)	51(41)	35(31)	46(38)				211(178)
商船学科40名	航海コース20名 機関コース20名	22(7)	19(8)	17(8)	20(11)	22(5)	14(3)			114(12)
電子制御工学科40名		20(1)	18	20(3)	23(2)	18	21(1)			120(7)
情報工学科40名						3				3
海事システム工学専攻4名						4(1)				4(1)
制御情報システム工学専攻8名								4(2)	3	7(2)
国際ビジネス学専攻								11(4)	12(4)	23(8)
								6(6)	7(7)	13(13)
合計		129(55)	116(49)	130(64)	120(55)	135(56)	35(4)	21(12)	22(11)	708(306)

■出身地別在学生数

[本郷キャンパス]

平成26年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		132(30)	108(26)	136(27)	112(26)	104(24)	30(7)	22(2)	644(142)
宮城県				1					1
神奈川県			1						1
石川県		1							1
長野県		1							1
岐阜県			1		3	2			6
愛知県		1(1)	1(1)		1				3(2)
滋賀県		1(1)		1					2(1)
マレーシア					1	1(1)			2(1)
モンゴル				1					1
フランス						1(1)			1(1)
ブラジル								1(1)	1(1)
合計		136(32)	111(27)	139(27)	117(26)	108(26)	30(7)	23(3)	664(148)

[射水キャンパス]

平成26年5月1日現在

所在地	学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	実習生	専攻科1学年	専攻科2学年	合計
富山県		121(54)	104(47)	119(63)	107(46)	127(55)	23(1)	17(10)	19(11)	637(287)
石川県		3	3	3	5(4)	1	6		2	23(4)
北海道						2				2
青森県			1(1)	2						3(1)
宮城県				1						1
山形県		1(1)	1		1		1			4(1)
福島県				1						1
群馬県							1(1)			1(1)
埼玉県		1								1
東京都		1	1		1					3
神奈川県				1	1(1)	1				3(1)
福井県					1					1
新潟県			2							2
長野県			1			2		1(1)	1	5(1)
岐阜県		1	2(1)	1	1(1)	1	1	2		9(2)
愛知県					1(1)					1(1)
滋賀県							1(1)			1(1)
大阪府		1								1
奈良県							1			1
山口県								1(1)		1(1)
香川県			1							1
鹿児島県					1(1)					1(1)
スリロンカ					1(1)					1(1)
マレーシア				1(1)						1(1)
カンボジア				1						1
合計		129(55)	116(49)	130(64)	120(55)	135(56)	35(4)	21(12)	22(11)	708(306)

() は、女子の内数

卒業生の進路

進学

卒業後は4年制大学の3年次に編入学できます。
 これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

就職

求人倍率が高いのが、富山高等専門学校の特徴です。
 産業界に高く評価され、県内外の企業や官公庁で活躍しています。

大学への編入

工学系

- 国立**
 富山高専専攻科
 福井高専専攻科
 京都大学
 人阪大学
 名古屋大学
 東北大学
 北海道大学
 九州大学
 東京工業大学
 筑波大学
 横浜国立大学
 東京農工大学
 広島大学
 千葉大学
 新潟大学
 金沢大学
 富山大学
 長岡技術科学大学
 豊橋技術科学大学
 岐阜大学
 京都工芸繊維大学
 九州工業大学
 電気通信大学
 名古屋工業大学
 岡山大学
 信州大学
 秋田大学
 岩手大学
 福井大学
 静岡大学
 宇都宮大学
- 公立**
 首都大学東京
 富山県立大学
 石川県立大学
 大阪府立大学
- 私立**
 金沢工業大学
 立命館大学

人文社会系

- 国立**
 富山高専専攻科
 名古屋大学
 大阪大学
 富山大学
 金沢大学
 信州大学
 北海道大学
 筑波大学
 埼玉大学
 東京外国語大学
 お茶の水女子大学
 横浜国立大学
 滋賀大学
 奈良女子大学
 神戸大学
- 公立**
 高崎経済大学
 都留文科大学
- 私立**
 上智大学
 中央大学
 南山大学
 立命館大学
 関西大学

商船系

- 国立**
 富山高専専攻科
 東京海洋大学
 長岡技術科学大学
 富山大学
 豊橋技術科学大学
 神戸大学

大学院への進学

工学系

- 国立**
 東京大学大学院
 東北大学大学院
 名古屋大学大学院
 富山大学大学院
 金沢大学大学院
 北陸先端科学技術大学院大学
 北海道大学大学院
 福島大学大学院
 茨城大学大学院
 東京工業大学大学院
 長岡技術科学大学大学院
 名古屋工業大学大学院
 豊橋技術科学大学大学院
 京都工芸繊維大学大学院
 奈良先端科学技術大学院大学
 九州工業大学大学院
- 私立**
 早稲田大学大学院
 立命館大学大学院

人文社会系

- 国立**
 二越教育大学大学院

商船系

- 国立**
 東京海洋大学大学院

過去5年間の主な実績

機械工学科

- YKK
 キタムラ機械
 タマディック
 日本ゼオン
 コマツ
 口辺工業
 日研プラント

電気工学科

- 関西電力
 中部国際空港サービス
 中部電力
 ニコン
 日立製作所
 北陸電気工事
 北陸電気保安協会
 北陸電力
 JR東日本
 YKK

物質工学科

- 花千
 富山化学工業
 アステラスファーマテック
 テイカ製薬
 日医工
 日本ゼオン
 第一ファインケミカル
 ダイキン工業
 旭化成
 ファインネクス

環境材料工学科

- YKK
 富山スガキ
 三晶MEC
 中越合金鋳工
 ファインネクス
 サンエツ金属

情報工学科

- YKK
 北陸電力
 北陸情報システムサービス
 北陸コンピュータサービス
 NTTネオメイト
 353コミュニケーションシステム
 富士通
 日本放送協会
 JR東海
 JR北日本

電子制御工学科

- 大塚製薬工場
 関西電力
 CKサンエツ
 中部電力
 JR東海
 東芝エレベータ
 北陸電力
 三菱電機ビルテクノサービス
 山崎製パン
 YKK

国際流通学科

- YKK
 コマツNTC
 澁谷工業
 北陸電力
 北陸銀行
 ウェスティンホテル
 外務省
 経済産業省
 財務省(税関)
 国立国会図書館

商船学科

- 日本郵船
 商船三井
 川崎汽船
 太洋日本汽船
 JX日鉱日石タンカー
 商船三井フェリー
 新日本海フェリー
 ヤンマーエネルギーシステム
 ダイキン工業
 国土交通省

専攻科

工学系

- 旭化成
 丸正印刷
 アステラスファーマテック
 コマツNTC
 シロウマサイエンス
 セイコーエプソン
 ダイト
 日本書院
 富山化学工業
 美和ロック

人文社会系

- 不二越
 信越化学工業
 北陸銀行
 PFU
 NTTネオメイト
 津根精機
 北陸発電工事
 日本オープンシステムズ

商船系

- 川崎近海汽船
 JX日鉱日石タンカー
 航海訓練所
 国土交通省造船職員
 日本海事検定協会
 日本海洋振興
 東洋信号通信社
 日本海洋事業
 飯野海運
 ヤンマーエネルギーシステム

過去5年間の主な実績

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス 富山駅前からの場合、みずほ信託銀行前(2番乗り場)から「国立高専(朝菜町経山・下堀経山)」行きに乗車～約 30 分～山立高専前[終点]下車、徒歩 0 分
- 電車/電鉄富山駅からの場合
「岩嶺寺」行きに乗車～約 14 分～小杉駅下車、徒歩 15 分
岩嶺寺駅からの場合
「電鉄富山」行きに乗車～約 15 分～布市駅下車、徒歩 15 分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 の 2
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅前から「新港東口」行きに乗車～約 30 分～「練合」下車、徒歩 2 分
- 通学バス/JR 東富山駅、富山駅、呉羽駅、小杉駅、高岡駅や新湊方面から通学バス(有料)を朝夕に運行
- コミニティバス 射水市のコミニティバスも利用可

<http://www.nc-toyama.ac.jp>